

<資料編>

関係団体等の取組報告事例

表V 関係団体報告一覧

資料番号	事業名	取組実施者、連携団体等	清らかな流れ	豊かな流れ	安全な流れ	豊かな生態系	流域区分				
							南三陸海岸	北上	鳴瀬	名取	阿武隈
1	ビーチクリーン	気仙沼本吉サーフクラブ、小泉地域づくり協議会、OSHIMA PADDLE CLUB、お伊勢浜ライブフェスタ実行委員会、小泉ユニバーサルビーチユニット、本吉夢プロジェクト委員会、大谷里海づくり協議会、気仙沼ビーチサッカー委員会、気仙沼の海辺を守る会	○				○				
2	あつまれ、はまわらず！	NPO法人浜わらず、大谷里海づくり検討委員会	○	○	○	○	○				
3	社会協働教育・体験受け入れ	NPO法人浜わらず、日門定置網漁業生産組合	○	○	○	○	○				
4	気仙沼湾内の海面清掃作業	NPO法人気仙沼清港会	○	○	○	○	○				
5	南三陸海岸流域における森林づくり(森林環境保全整備事業等)	林野庁東北森林管理局宮城北部森林管理署		○		○	○				
6	森林整備事業(間伐)と林地残材搬出	NPO法人リアスの森応援隊、八瀬・森の救援隊、気仙沼商會、気仙沼地域エネルギー開発(株)、気仙沼地域おこし協力隊				○	○	○			
7	水田の生き物観察会	新童子下集落(中山地域等直接支払交付金)、南三陸米地産地消推進協議会、新みやぎ農業協同組合、気仙沼農業改良普及センター				○	○				
8	江合川・鳴瀬川堤防除草作業委託【江合川地区】	大崎市(建設課)、国土交通省北上川下流河川事務所、大崎市古川水辺プラザ管理運営協議会	○						○		
9	河川の除草・清掃、自然体験	NPO法人ひたかみ水の里、石巻観光協会、街づくりまんばん、角張工務店、国土交通省北上川下流河川事務所宮城県東部土木事務所、石巻市	○						○		
10	環境美化活動	日本製紙株式会社石巻工場	○						○		
11	クリーンアップ湖沼群清掃	登米市環境市民会議、NPO法人伊豆沼・長沼水環境ネットワーク、佐沼ロータリークラブ、平沼沼水・いきもの保全隊等	○			○					
12	あつまれ鳴子ダム	NPO法人鬼首山学校協議会、鳴子ダム、大崎市	○			○			○		
13	森林づくりのための保育作業及び災害復旧箇所の植樹活動	林野庁東北森林管理局宮城北部森林管理署、NPO法人、地域住民		○		○					
14	「田んぼの学校」(稲作体験、生き物調査)	北上地区保全会(多面的機能支払交付金活動組織)、石巻市立北上小学校(2・3年生)、北上川沿岸土地改良区、石巻市、宮城県(東部地方振興事務所農業農村整備部)		○		○			○		
15	東日本大震災からの復興と海岸線の再生	林野庁東北森林管理局宮城北部森林管理署、NPO法人、一般企業等				○	○				
16	水源地域安全確認調査	NPO法人鬼首山学校協議会、大崎市鳴子総合支所、鬼首地区公民館				○	○		○		
17	北上川水系水辺現地調査(底生動物)	北上川下流河川事務所				○			○		
18	令和4年度 伊豆沼・内沼における外来魚低密度管理を目指した捕獲等業務	東北地方環境事務所、公益財団法人宮城県伊豆沼・内沼架橋保全財団(請負事業)				○			○		
19	東郷小学校総合学習支援「田んぼの学校」	東部地方振興事務所登米地域事務所農業農村整備部、追川沿岸土地改良区、裏大岳ふる里守り隊				○			○		
20	伊豆沼・内沼自然再生事業、よみがえれ在来生物プロジェクト	宮城県環境生活部自然保護課、伊豆沼・内沼自然再生協議会、公益財団法人宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団、株式会社建設環境研究所				○			○		
21	①しちがはまクリーンサポートプログラム ②巡回監視・回収	七ヶ浜町、ボランティア団体	○							○	
22	河川清掃	色麻町河川愛護会、色麻町	○							○	
23	地域交流「めだかの学校びおと〜ぶ」(稲刈り体験学習)	NPO法人石母田ふる里保全会、加美町立宮崎小学校、宮城県(北部地方振興事務所農業農村整備部)	○		○	○				○	
24	水生生物調査	多賀城市、東北緑化環境保全株式会社				○				○	
25	鳴瀬川水系水辺現地調査(植物)	北上川下流河川事務所				○				○	
26	ため池の生態系保全と復元	NPO法人シナイモツゴ郷の会、大崎市、東北大学、全国ブラックバス防除市民ネットワーク、宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団、鹿島台小学校、鳴瀬桜華小学校、小牛田小学校、石巻開北小学校、南郷農業高等学校				○				○	
27	野蒜築港の研究、伝承、遺産保護、地域活性化	野蒜築港ファンクラブ、野蒜塾				○				○	
28	「田んぼの学校」(生き物調査)	東松島地区管理体制整備促進協議会、東松島市立鳴瀬桜華小学校、鳴瀬土地改良区、河南矢本土土地改良区、東松島市、宮城県(東部地方振興事務所農業農村整備部)				○				○	
29	持続可能なみやぎの漁場環境づくり推進事業(鳴瀬川における魚類相調査)	宮城県水産技術総合センター内水面水産試験場、鳴瀬吉田川漁業協同組合				○				○	
30	水質汚濁対策連絡協議会による活動	名取川水系水質汚濁対策連絡協議会、国土交通省、経済産業省、宮城県、水系内市町、水系内消防本部	○								○
31	広瀬川1万人プロジェクト(一斉清掃)	広瀬川1万人プロジェクト実行委員会、実行委員会に加入している地元企業、及び国土交通省東北地方整備局仙台河川国道事務所、宮城県、名取市、仙台市(建設局百年の杜推進課)など	○								○
32	増田川の清掃活動	キラキラバルク増田西、名取市	○								○
33	「田んぼの学校」(仙台市大沢小学校 稲刈り体験)	仙台市大倉川土地改良区、JA仙台青年部芋沢支部、美土里ネットみやぎ、原・下地域保全連絡会、町内会、仙台市農林土木課、美土里ネット大倉川、仙台地方振興事務所農業農村整備部	○								○
34	・貞山運河の利活用による新浜の復興まちづくり・新浜の貞山運河小艇めぐり・仙台湾・貞山運河活用プロジェクト	新浜町内会、貞山運河クラブ、カントリーパーク新浜、せんだいメディアテーク、NPO法人水・環境ネットワーク東北、東北学院大学(平吹ゼミ、菊池ゼミ)、宮城教育大学(棟方ゼミ)	○	○							○
35	令和4年度 釜房ダム周辺の清掃活動と桜並木の蔓刈り・下草刈り	NPO法人川崎町の資源をいかす会、川崎町釜房ダム周辺	○		○						○
36	水生生物による簡易水質調査	仙台河川国道事務所	○			○					○
37	青下の杜プロジェクト	仙台市水道局、青下の杜プロジェクト協力企業	○			○					○
38	水生生物観察会	名取市	○			○					○



流域水循環計画取組状況

団体名称	気仙沼本吉サーフィンクラブ	
対象流域	南三陸海岸流域 ・ 北上川流域 ・ 鳴瀬川流域 ・ 名取川流域 ・ 阿武隈川流域	
取組分類	清らかな流れ ・ 豊かな流れ ・ 安全な流れ ・ 豊かな生態系	
活動事業名	ビーチクリーン	
取組の目的	素晴らしい海、自然を守っていくとともに地域の活性化と相互連携協力のもとにサーフィンの普及を考える。	
実施場所	小泉海岸・登米沢海岸・大沢漁港脇・大谷海岸・お伊勢浜海水浴場・小田の浜海水浴場	
事業期間	令和4年5月8日、7月10日、9月4日、令和5年3月5日	
取組の概要	【令和4年度の主な取組】 「第2回10団体合同6海岸一斉ビーチクリーン」「第1回気仙沼全海水浴場一斉ビーチクリーン」「NSAACT全国一斉ビーチクリーン」「東日本大震災追悼式」ビーチクリーン	
連携団体等	小泉地域づくり協議会 OSHIMA PADDLE CLUB お伊勢浜ライブフェスタ実行委員会 小泉ユニバーサルビーチユニット 本吉夢プロジェクト委員会 大谷里海づくり協議会 気仙沼ビーチサッカー委員会 気仙沼の海辺を守る会	
【取組状況の結果・写真・図表等】	各海岸の集合写真など	
	  	
	  	
	  	
取組の点検	地域の方々との連携を模索していた中、海洋プラゴミ問題などが高まり共に活動出来てきた。	
今後の取組目標	持続可能なビーチクリーン活動に取り組む時期であるので、家族、子供達にも工夫して広げていきたい。	

報告団体等

気仙沼本吉サーフィンクラブ

流域水循環計画取組状況

団体名称	特定非営利活動法人 浜わらす
対象流域	南三陸海岸流域 ・ 北上川流域 ・ 鳴瀬川流域 ・ 名取川流域 ・ 阿武隈川流域
取組分類	清らかな流れ ・ 豊かな流れ ・ 安全な流れ ・ 豊かな生態系
活動事業名	あつまれ、はまわらす！
取組の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・海や自然の「恵みや怖さ」を体験できる機会をつくる。 ・自然の中で体験することから子どもたちの「生きる力」を引き出す。 ・地域の大人が次世代の育成に関わり、海の文化や知識を伝えていく。 ・浜わらすを通じて、世代を超えた繋がりをつくる。
実施場所	宮城県気仙沼市本吉町 日門漁港、前浜漁港、白浜海岸、山谷地区の沢、大谷海岸
事業期間	<p>○自然体験事業「あつまれ、はまわらす！」の実施</p> <p>5/3 春の海！海探検</p> <p>6/25 MY竿でお魚ゲットだぜ！①</p> <p>7/2 MY竿でお魚ゲットだぜ！②</p> <p>8/2 日帰り海体験①</p> <p>8/6 日帰り海体験②</p> <p>8/9～11 生き抜け！サバイバルキャンプ</p> <p>8/20 MY竿でお魚ゲットだぜ！③</p> <p>9/10「レッツゴー！浜リンピック2022」</p> <p>毎月第一土曜日 ビーチクリーン(内、10月は漂着物組成調査実施)</p>
取組の概要	<p>【令和4年度の主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漂着物の調査。調査を実施した日門海岸のゴミは、近くで利用したと思われるゴミが多いことがわかった。
連携団体等	大谷里海づくり検討委員会
【取組状況の結果・写真・図表等】	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>MY竿でお魚ゲットだぜ！</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>毎月第一土曜日 ビーチクリーン (内、10月は漂着物組成調査実施)</p> </div> </div>	
取組の点検	土嚢袋など砂浜に埋まっているゴミの回収が難しい。
今後の取組目標	ビーチクリーンの継続/子どもたちに海の生き物に親しみを感じてもらうため地域ならではのウニの開口や地引網などの漁法を体験できる地域にしたい。

報告団体等

特定非営利活動法人 浜わらす

流域水循環計画取組状況

団体名称	特定非営利活動法人 浜わらす
対象流域	南三陸海岸流域 ・ 北上川流域 ・ 鳴瀬川流域 ・ 名取川流域 ・ 阿武隈川流域
取組分類	清らかな流れ ・ 豊かな流れ ・ 安全な流れ ・ 豊かな生態系
活動事業名	社会協働教育・体験受け入れ
取組の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・海や自然の「恵みや怖さ」を体験できる機会をつくる。 ・自然の中で体験することから子どもたちの「生きる力」を引き出す。 ・地域の大人が次世代の育成に関わり、海の文化や知識を伝えていく。 ・浜わらすを通じて、世代を超えた繋がりをつくる。
実施場所	宮城県気仙沼市本吉町 日門漁港、前浜漁港、大谷海岸、沼尻漁港、小泉海岸、お伊勢浜海岸
事業期間	<p>○社会協働教育/体験受け入れ事業の実施</p> <p>5/18 山形県河北町立河北中学校受入「ビーチクリーン」</p> <p>6/14 気仙沼市立大谷小学校「砂の造形」、「海浜植物観察」、6/10 1、2年生「磯観察」</p> <p>6/30 岩手県花巻市立花巻北中学校 受入、7/1 東北学院中学校受入、7/17 大阪つばさネットワーク 高校生受入「ビーチクリーン」、7/19 フリースペースつなぎ受入「海体験」</p> <p>7/26 栃木県鹿沼市 山のようにちえん受入「漁業体験」</p> <p>8/4 気仙沼市立小泉・本吉公民館主催 ちびっこ大学「海あそび体験」</p> <p>9/16 気仙沼市立大谷小学校5年生「漁船見学」</p> <p>9/17 みやぎ海岸美化協議会 宮城県沿岸部10ヶ所同時「ビーチクリーン」</p> <p>9/27 旅する学校受入「波乗り体験」、10/6、13、19気仙沼市立大谷小学校「ビーチクリーン」、11/4 芝浦工業大学「海洋ゴミ講話&ビーチクリーン」</p> <p>11/10 山形市立宮浦小学校6年生「ビーチクリーン&ジェルキャンドルづくり」</p> <p>11/11 気仙沼市立大谷小学校「海浜植物植栽」、12/2 「わかめの養殖体験」</p> <p>12/28 大阪 インターアクト高校生受入「ビーチクリーン」</p> <p>1/31 大谷小学校3年生総合的な学習「わかめの観察」、3/2 「わかめの収穫」</p> <p>3/12 福岡県立明善高等学校受入「ビーチクリーン&ジェルキャンドルづくり」</p>
取組の概要	<p>【令和4年度の主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビーチクリーン。
連携団体等	日門定置網漁業生産組合
【取組状況の結果・写真・図表等】	
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p>海に親しむ集い 砂の造形</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>みやぎ海岸美化協議会 ビーチクリーン</p> </div> </div>	
取組の点検	土嚢袋など砂浜に埋まっているゴミの回収が難しい。
今後の取組目標	ビーチクリーンの継続/子どもたちに海の生き物に親しみを感じてもらうため地域ならではのウニの開口や地引網などの漁法を体験できる地域にしたい。

報告団体等


特定非営利活動法人 浜わらす

流域水循環計画取組状況

団体名称	特定非営利活動法人 気仙沼清港会
対象流域	南三陸海岸流域 ・ 北上川流域 ・ 鳴瀬川流域 ・ 名取川流域 ・ 阿武隈川流域
取組分類	清らかな流れ ・ 豊かな流れ ・ 安全な流れ ・ 豊かな生態系
活動事業名	気仙沼湾内の海面清掃作業
取組の目的	湾内の浮遊ゴミや漂流物を回収し、航行する船舶の安全確保と清潔な港湾環境を作る
実施場所	気仙沼湾内及び気仙沼市行政区地先海岸
事業期間	令和4年4月1日から令和5年3月31日
取組の概要	<p>【令和4年度の主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宮城県所有の海面清掃船(海清丸)を使用し海面に浮遊する障害物やごみの除去並びに不法投棄等のパトロールを海洋から行い、回収したごみは分別して全量、気仙沼市クリーンヒルセンターまで運搬する。 ・湾内に流失した油(漁船燃料等)を清掃船を使って攪拌する。
連携団体等	特に無し。
【取組状況の結果・写真・図表等】	
 <p>漁港に集まったごみ</p>	
 <p>漁港に集まった海藻ごみ</p>	
 <p>航路上に浮遊する流木</p>	
 <p>回収したごみ</p>	
 <p>回収した海藻ごみ</p>	
 <p>回収した流木</p>	
取組の点検	通常通り、航行する船舶の障害物除去を優先して回収した。また海洋プラスチックゴミ問題の観点から、余裕のある時は下船して岸壁側からプラごみ除去を重点的に実施した。
今後の取組目標	安全且つ効率的な回収作業の実施及び陸側からの清掃活動の実施・協力。

報告団体等 特定非営利活動法人 気仙沼清港会

流域水循環計画取組状況

団体名称	林野庁 東北森林管理局 宮城北部森林管理署
対象流域	南三陸海岸流域 ・ 北上川流域 ・ 鳴瀬川流域 ・ 名取川流域 ・ 阿武隈川流域
取組分類	清らかな流れ ・ 豊かな流れ ・ 安全な流れ ・ 豊かな生態系
活動事業名	南三陸海岸流域における森林づくり(森林環境保全整備事業等)
取組の目的	適正な森林整備を実施することで、水源かん養機能の維持増進、生物多様性の保全、地球温暖化防止対策の推進を図る。
実施場所	気仙沼市、南三陸町、石巻市、女川町内の国有林
事業期間	令和元年4月1日から令和6年3月31日
取組の概要	【令和4年度の主な取組】 造林木の育成を阻害している侵入木や形質不良木を除去するための「除伐」、「除伐2類」や林分密度の調整により、下層木の成長又は林床植生の発達を促すとともに、残存木の成長促進を図るための「保育間伐」を実施した。また、伐期を迎え主伐を実施した跡地は、再造林を行い森林の若返りを図っている。
連携団体等	なし
【取組状況の結果・写真・図表等】	
<p>【実施例】再造林による森林の若返り(気仙沼市) 【実施例】本数調整伐による森林整備(気仙沼市)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	
取組の点検	生物多様性の保全、地球温暖化防止対策及び保安林の適正な森林整備を目的として計画的に事業を実行している。
今後の取組目標	森林のもつ公益的機能を高度に発揮させるため、引き続き、森林環境保全整備事業等の推進を図る。

報告団体等


宮城北部森林管理署

流域水循環計画取組状況

団体名称	特定非営利活動法人リアスの森応援隊
対象流域	南三陸海岸流域 ・ 北上川流域 ・ 鳴瀬川流域 ・ 名取川流域 ・ 阿武隈川流域
取組分類	清らかな流れ ・ 豊かな流れ ・ 安全な流れ ・ 豊かな生態系
活動事業名	森林整備事業(間伐)と林地残材搬出
取組の目的	手付かずの荒廃した森林を間伐整備することにより、水源かん養機能を回復させ、狭くて強固な災害に強い森林作業道を作ることにより、土砂流失を防止する。
実施場所	気仙沼市前木地区、本吉町山林
事業期間	令和4年4月～令和5年3月
取組の概要	【令和4年度の主な取組】 森林経営計画対象の森林に、搬出の為の作業道を敷設し、間伐を行い、林地残材を残さないように、搬出した。
連携団体等	八瀬・森の救援隊／気仙沼商会／気仙沼地域エネルギー開発(株)／気仙沼地域おこし協力隊
【取組状況の結果・写真・図表等】	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>前木地区間伐施業地</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>本吉町山林(泉沢)間伐施業地</p>  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p>本吉町山林(蕨野)間伐施業地</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>本吉町山林(狼の巣)間伐施業地</p>  </div> </div>	
取組の点検	森林整備の補助事業を活用した為、宮城県、気仙沼市の担当者による完了検査済み
今後の取組目標	劣勢木をしっかり選木して間伐を行い、風倒木が増えない様に努め、豊かな森づくりを目指していく。

報告団体等 特定非営利活動法人リアスの森応援隊

流域水循環計画取組状況

団体名称	新童子下集落(中山間地域等直接支払交付金)、南三陸米地産地消推進協議会
対象流域	南三陸海岸流域 ・ 北上川流域 ・ 鳴瀬川流域 ・ 名取川流域 ・ 阿武隈川流域
取組分類	清らかな流れ ・ 豊かな流れ ・ 安全な流れ ・ 豊かな生態系
活動事業名	水田の生き物観察会
取組の目的	水田とその周辺に生息する生き物の様子を観察し、稲作と生き物の関係、当地域で生産される米の安全性及び環境保全の大切さを子供たちに実感してもらうことを目的に開催されたもの。
実施場所	南三陸町入谷字童子下
事業期間	令和4年7月8日
取組の概要	<p>【令和4年度の主な取組】</p> <p>南三陸町立入谷小学校の児童3、4年生22名を対象として、新童子下集落協定内の水田周辺で生き物調査を実施した。 外部講師指導のもと、水生生物を中心に採取し観察を行って、生態系や環境保全について学習した。</p>
連携団体等	新みやぎ農業協同組合、気仙沼農業改良普及センター
<p>【取組状況の結果・写真・図表等】</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>▲生き物を採取する児童</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>▲捕獲した生き物の観察と記録</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>▲アカハライモリが生息</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>▲講師による水田の生き物講義</p> </div> </div>	
取組の点検	児童らが実際に水田の周辺に生息する生き物を捕獲・観察することで、当地域の水田が持つ環境を保全する機能について理解を深めることができた。
今後の取組目標	次年度以降も観察会を実施し、稲の生育と水田周辺の生き物との関係や環境保全の役割を持っていることについて、入谷小学校の児童に実感してもらう。

報告団体等

宮城県農政部農村振興課

流域水循環計画取組状況

団体名称	大崎市(建設課)
対象流域	南三陸海岸流域・ 北上川流域 ・鳴瀬川流域・名取川流域・阿武隈川流域
取組分類	清らかな流れ ・豊かな流れ・安全な流れ・豊かな生態系
活動事業名	江合川・鳴瀬川堤防除草作業委託【江合川地区】
取組の目的	江合川の堤防に繁茂した草を除草し、堤防の保全、河川巡視による障害除去及び施設(江合川河川公園・古川ふれあい広場)の環境維持に寄与する。
実施場所	江合川 大崎市古川渕尻地区外(江合川及び新江合川)
事業期間	令和4年5月～11月
取組の概要	<p>【令和4年度の主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機械除草 254,000㎡ ・集草処分 254,000㎡ ・散在塵芥処理 508,000㎡ ・河川愛護活動
連携団体等	国土交通省北上川下流河川事務所、大崎市古川水辺プラザ管理運営協議会
<p>【取組状況の結果・写真・図表等】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>集草作業の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>江合川 堤防のごみ拾い</p> </div> </div> <p>小まめな除草作業によって害虫の発生が抑制される事により、近隣の農地への防虫対策を図り稲等の育成を促している。また、誰もが気軽に川辺散策できる空間を維持し、施設(江合川河川公園・古川ふれあい広場)の環境維持に努めている。</p>	
取組の点検	河川堤防及び施設周辺の除草等を実施しているが、特に問題無く取り組まれている。
今後の取組目標	今後も継続して、誰もが安心して利用できる施設の維持管理をしていくよう事業を実施する。

報告団体等

大崎市

流域水循環計画取組状況

団体名称	特定非営利活動法人 ひたかみ水の里
対象流域	南三陸海岸流域・北上川流域・鳴瀬川流域・名取川流域・阿武隈川流域
取組分類	清らかな流れ・豊かな流れ・安全な流れ・豊かな生態系
活動事業名	河川の除草・清掃、自然体験
取組の目的	イベントや清掃活動を実施し、地域活性化のきっかけをつくる
実施場所	石井閘門周辺、いしのまき元気いちば(かわまちオープンパーク)
事業期間	令和4年4月～令和5年3月
取組の概要	<p>【令和4年度の主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月1で北北上運河の清掃活動 ・毎週土曜日にめだっこクラブを実施(カヌー体験、アウトドアクッキング、キャンプ、清掃活動など) ・親子対象のカヌー体験 ・川のイベント(水辺で乾杯、かわべであそぼう、みずベマルシェ)
連携団体等	石巻観光協会、街づくりまんぼう、角張工務店、国土交通省北上川下流河川事務所、宮城県東部土木事務所、石巻市
【取組状況の結果・写真・図表等】	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>親子カヌー体験</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>みずベマルシェ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>水辺で乾杯</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>清掃活動</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>かわべであそぼう</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>めだっこクラブ(キャンプ)</p> </div> </div>	
取組の点検	北上川の堤防も完成し、賑わいの場所が増えてきている。
今後の取組目標	行政の方で北上川流域やみやぎの運河群の連携が進んできたので我々民間団体もより一層、行政や他団体と連携していき、地域活性化のきっかけをつくっていきたい。

報告団体等 特定非営利活動法人 ひたかみ水の里

流域水循環計画取組状況

団体名称	日本製紙株式会社 石巻工場
対象流域	南三陸海岸流域 ・ 北上川流域 ・ 鳴瀬川流域 ・ 名取川流域 ・ 阿武隈川流域
取組分類	清らかな流れ ・ 豊かな流れ ・ 安全な流れ ・ 豊かな生態系
活動事業名	環境美化活動
取組の目的	周辺地域の美化
実施場所	石巻工場および雲雀野発電所周辺(石巻湾周辺)
事業期間	令和4年6月27日
取組の概要	<p>【令和4年度の主な取組】</p> <p>石巻工場および雲雀野発電所周辺の清掃を行った。 参加人数：167名</p>
連携団体等	—
<p>【取組状況の結果・写真・図表等】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>(石巻工場周辺)</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>(回収ゴミ)</p>  </div> </div>	
取組の点検	空き缶・ペットボトル等のゴミを45L袋で20袋程度回収した。
今後の取組目標	周辺地域環境の維持・改善に努める。

報告団体等

日本製紙株式会社 石巻工場

流域水循環計画取組状況

団体名称	登米市環境市民会議	
対象流域	南三陸海岸流域・北上川流域・鳴瀬川流域・名取川流域・阿武隈川流域	
取組分類	清らかな流れ・豊かな流れ・安全な流れ・豊かな生態系	
活動事業名	クリーンアップ湖沼群清掃	
取組の目的	長沼、長沼川、平筒沼における環境美化活動	
実施場所	登米市迫町:長沼、長沼川	登米市米山町:平筒沼
事業期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日	
取組の概要	<p>【令和4年度の主な取組】</p> <p>登米市の重要な湖沼である長沼や平筒沼などの、豊かな自然環境の保全と環境美化のため清掃活動を、9月と3月の2回実施。</p>	
連携団体等	NPO法人伊豆沼・長沼水環境ネットワーク、佐沼ロータリークラブ、平筒沼水・いきもの保全隊等	
【取組状況の結果・写真・図表等】		
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">【清掃活動の様子】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">【収集したごみの写真】</p>		
取組の点検	清掃参加者: (9月)計100人、(3月)計125人 ごみ収集量: (9月)計70kg、(3月)計169kg	合計225人 合計238kg
今後の取組目標	今後も継続して環境美化活動を行っていく。	

報告団体等

登米市

流域水循環計画取組状況

団体名称	特定非営利活動法人 鬼首山学校協議会
対象流域	南三陸海岸流域 ・ 北上川流域 ・ 鳴瀬川流域 ・ 名取川流域 ・ 阿武隈川流域
取組分類	清らかな流れ ・ 豊かな流れ ・ 安全な流れ ・ 豊かな生態系
活動事業名	あつまれ鳴子ダム
取組の目的	江合川源流部の生態系を地域内外の住民に紹介し、水源地域の豊かさと大切さを知ってもらう。
実施場所	江合川 大崎市鬼首地区
事業期間	令和4年7月30日
取組の概要	<p>【令和4年度の主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水源地の森や川を案内し、遊びを通じた学びの場を提供 ・水源地域の森や川の生きものを調査し、豊かな生態系を知る機会を提供
連携団体等	鳴子ダム、大崎市
<p>【取組状況の結果・写真・図表等】</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>森や植物の学習</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>森の中のブランコ遊び</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>木登り体験</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>イワナのつかみ取り体験</p> </div> </div>	
取組の点検	実際に森や川を学びの場とすることで自然の大切さ知ることができたと思われる。
今後の取組目標	人材育成が必要であり、水源地域の重要性を住んでいる人自ら語れるようにしたい。

報告団体等 特定非営利活動法人 鬼首山学校協議会

流域水循環計画取組状況

団体名称	林野庁 東北森林管理局 宮城北部森林管理署
対象流域	南三陸海岸流域 ・ 北上川流域 ・ 鳴瀬川流域 ・ 名取川流域 ・ 阿武隈川流域
取組分類	清らかな流れ ・ 豊かな流れ ・ 安全な流れ ・ 豊かな生態系
活動事業名	森林づくりのための保育作業及び災害復旧箇所の植樹活動
取組の目的	森林整備・保全への国民参加の推進
実施場所	栗原市栗駒岳国有林
事業期間	令和4年10月15日
取組の概要	<p>【令和4年度の主な取組】</p> <p>NPO法人に国有林野のフィールドを提供し、地域住民と森林整備・保全活動等を実施した。</p> <p>・森林整備・保全活動等:栗原市 0.10ha(植付)</p>
連携団体等	NPO法人及び地域住民
<p>【取組状況の結果・写真・図表等】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>【栗原市】</p>  <p>森林整備活動(植付)</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>【栗原市】</p>  <p>森林整備活動(植付)</p> </div> </div>	
取組の点検	NPO及び地域住民等による森林整備活動について、生育上の管理が必要となる。
今後の取組目標	引き続き、NPO等が実施する自主的な植樹活動等や保全活動について、要望に応じた国有林のフィールドの提供により、多様な取り組みに努める。

報告団体等

宮城北部森林管理署



流域水循環計画取組状況

団体名称	北上地区保全会
対象流域	南三陸海岸流域・北上川流域・鳴瀬川流域・名取川流域・阿武隈川流域
取組分類	清らかな流れ・豊かな流れ・安全な流れ・豊かな生態系
活動事業名	「田んぼの学校」(稲作体験、生き物調査)
取組の目的	北上川流域の豊かな生態系や農業・農村が有する多面的機能について、各種活動を通じて、地元の小学生に理解を深めてもらうことを目的とする。
実施場所	石巻市北上町女川
事業期間	稲作体験：令和4年5月26日(田植え)、令和4年10月17日(稲刈り) 生き物調査：令和4年9月9日
取組の概要	<p>【令和4年度の主な取組】</p> <p>稲作体験：稲の成長について、1年を通じて学習する活動。また、田んぼや農村をとりまく環境の有する多面的な機能について関心を深めるもの。</p> <p>生き物調査：水路に生息する生き物を採取し、判別の方法を学習することで、北上川流域の豊かな生態系や、田が「生物多様性を保全する機能」を有していることについて理解を深めるもの。</p>
連携団体等	北上地区保全会(多面的機能支払交付金活動組織)、石巻市立北上小学校(2・3年生)、北上川沿岸土地改良区、石巻市、宮城県(東部地方振興事務所農業農村整備部)
【取組状況の結果・写真・図表等】	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>▲ 田植え体験①</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>▲ 生き物調査①</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>▲ 稲刈り体験①</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>▲ 田植え体験②</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>▲ 生き物調査②</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>▲ 稲刈り体験②</p> </div> </div>	
取組の点検	毎年度、2年生が生き物調査、3年生が稲作体験を行っており、児童たちは2年間を通じて、北上川流域の生態系や農業・農村の多面的機能について学びを深めることができている。
今後の取組目標	来年度以降も継続的に同様の活動を実施し、北上川流域における自然環境や、そこで営まれる農業について理解を深めると共に愛着を持ってもらう。また、令和4年度は施設見学会を開催できなかったが、令和5年度は開催し、北上川から田への用排水の方法や農業水利施設についての普及活動を実施する。

報告団体等

宮城県農政部農村振興課

流域水循環計画取組状況

団体名称	林野庁 東北森林管理局 宮城北部森林管理署
対象流域	南三陸海岸流域 ・ 北上川流域 ・ 鳴瀬川流域 ・ 名取川流域 ・ 阿武隈川流域
取組分類	清らかな流れ ・ 豊かな流れ ・ 安全な流れ ・ 豊かな生態系
活動事業名	東日本大震災からの復興と海岸林の再生
取組の目的	国民の参加による海岸防災林の再生の推進
実施場所	東松島市矢本地区、浜市地区
事業期間	平成26年度～令和11年度
取組の概要	<p>【令和4年度の主な取組】 東日本大震災により被災した東松島市の海岸防災林の再生に向け、植生基盤を造成後、その一部の区域を民間団体等と協定を締結し、森林づくりを行っている。 ・平成26年度～令和11年度、「社会貢献の森」の協定を締結して保育作業(植樹、下刈、つる切り等)を実施している。 令和3年度は、12団体(21協定)による活動を5.41haで実施。</p>
連携団体等	NPO及び一般企業等
<p>【取組状況の結果・写真・図表等】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">協定による海岸防災林再生に向けた森林整備活動</p>	
取組の点検	海岸防災林の再生に向け、継続的で適切な保育活動を実施できるよう啓蒙し、必要な森林整備等の技術指導を実施する。
今後の取組目標	より多くのみどり環境が造成されるよう事業の推進を図る。

報告団体等




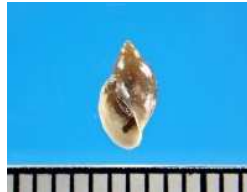

宮城北部森林管理署

流域水循環計画取組状況

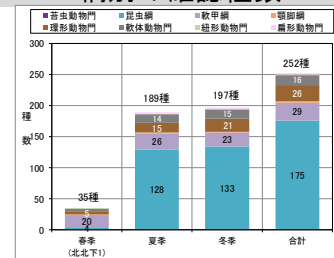
団体名称	特定非営利活動法人 鬼首山学校協議会
対象流域	南三陸海岸流域 ・ 北上川流域 ・ 鳴瀬川流域 ・ 名取川流域 ・ 阿武隈川流域
取組分類	清らかな流れ ・ 豊かな流れ ・ 安全な流れ ・ 豊かな生態系
活動事業名	水源地域安全確認調査
取組の目的	火山性の強い水源地域であるためSNS等で紹介される危険地点や行為について行政と共に現地調査を実施し対応策を講じる。
実施場所	大崎市鬼首地区
事業期間	令和4年11月8日
取組の概要	【令和4年度の主な取組】 里山の管理と水源地の保護
連携団体等	大崎市鳴子総合支所、鬼首地区公民館
【取組状況の結果・写真・図表等】	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>クロタマの湯</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>クレーター湯</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>高温度で自然湧出している</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>危険地点への対応</p> </div> </div>	
取組の点検	自然湧出の温泉「野湯」がブームとなっているが危険性が高いため平素より情報収集に気を配る。
今後の取組目標	行政や地域でネット等の情報を共有し、危険性の高いものに関しては積極的に発信を行う。

報告団体等 特定非営利活動法人 鬼首山学校協議会

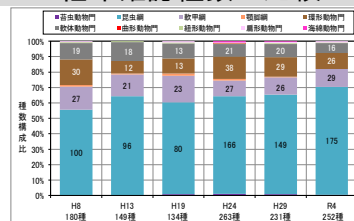
流域水循環計画取組状況

団体名称	北上川下流河川事務所		
対象流域	南三陸海岸流域・北上川流域・鳴瀬川流域・名取川流域・阿武隈川流域		
取組分類	清らかな流れ・豊かな流れ・安全な流れ・豊かな生態系		
活動事業名	北上川水系水辺現地調査(底生動物)		
取組の目的	北上川水系北上川、旧北上川、江合川の直轄管理区間を対象として、底生動物調査を実施し、河川管理上の基礎資料とするもの。		
実施場所	北上川水系直轄管理区間		
事業期間	令和4年4月～令和5年3月		
取組の概要	<p>【令和4年度の主な取組】</p> <p>北上川水系における底生動物の分布状況の経年変化を把握する。</p>		
連携団体等			
<p>【取組状況の結果・写真・図表等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今年度調査では春季35種、夏季189種、冬季197種の合計252種を確認した。 地区毎の確認種は、上流側の地区ほど種数が増える傾向がみられた。 重要種は、ヨシダカワザンショウガイ、アカテガニ、コオイムシ等の19種を確認した。 外来種は、サカマキガイ、フロリダマミズヨコエビ、オオマリコケムシ等の11種を確認した。 これまで7回の調査が行われており確認種数は、平成24年が263種と最も多く、次いで今年度が252種と多かった。 			
<p>確認された主な重要種</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>アカテガニ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>コオイムシ</p> </div> </div>			
<p>確認された主な外来種</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>アメリカナミウズムシ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>サカマキガイ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>フロリダマミズヨコエビ</p> </div> </div>			
取組の点検	底生動物の生息・生育環境等に関するデータは、河川の整備・管理に必要な基礎的情報である。		
今後の取組目標	良好な河川空間の整備・保全に資するため、今後も管理河川を対象に、河川環境の基礎的な状況を定期的、継続的、統一的な手法で調査を実施する。		

網別の確認種数



経年確認種数の比較



流域水循環計画取組状況

団体名称	東北地方環境事務所
対象流域	南三陸海岸流域 ・ 北上川流域 ・ 鳴瀬川流域 ・ 名取川流域 ・ 阿武隈川流域
取組分類	清らかな流れ ・ 豊かな流れ ・ 安全な流れ ・ 豊かな生態系
活動事業名	令和4年度 伊豆沼・内沼における外来魚低密度管理を目指した捕獲等業務
取組の目的	平成16(2004)年度から伊豆沼・内沼に生息する特定外来生物であるオオクチバス等の駆除を実施しており、現在、低密度管理に移行できていると評価している。引き続き、駆除を行い、自然繁殖が困難な密度まで減少させることを目指すとともに、取組み状況の把握・評価を行うのに必要なデータの収集を目的とする。
実施場所	伊豆沼・内沼地内(宮城県栗原市及び登米市)
事業期間	令和4年4月21日から令和5年3月20日まで
取組の概要	<p>【令和4年度の主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 電気ショックャーボート、タモ網、三角網(サデ網)等による成魚及び稚魚等の捕獲、人工産卵床を用いた外来魚の卵の採取 採取した外来魚データ(個体数、体長等)、捕獲(生息)場所の環境情報の把握、整理 外来魚モニタリングにおける環境DNA調査の有用性の確認 得られたデータから生息個体数の推定、遅滞相管理に向けた現状評価等 密放流対策として、監視カメラ1基、注意喚起看板4基を設置したほか、普及広報としてマグネット式ステッカー、クリアファイルの作成・配布を実施
連携団体等	公益財団法人 宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団(請負事業)

【取組状況の結果・写真・図表等】

表1. 人工産卵床、三角網による捕獲結果

	オオクチバス		ブルーギル	
	卵	稚魚	卵	稚魚
人工産卵床	9		1	
三角網		1,261		0
合計	9	1,261	1	0

表2. 定置網、刺網、電気ショックャーで捕獲結果

		オオクチバス		ブルーギル	
		成魚	幼魚	成魚	幼魚
定置網	繁殖期	0	30	0	4
	非繁殖期	12	2	4	24
刺網	繁殖期	2	0	0	0
	非繁殖期	3	0	0	0
電気ショックャー	繁殖期	0	0	1	0
	非繁殖期	1	4	0	0
合計		18	36	5	28

図1. 人口産卵床によるオオクチバス産卵床駆除数

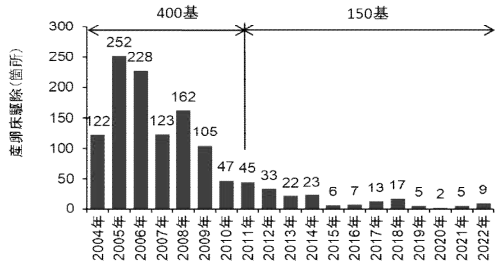


図2. 三角網によるオオクチバス稚魚駆除数

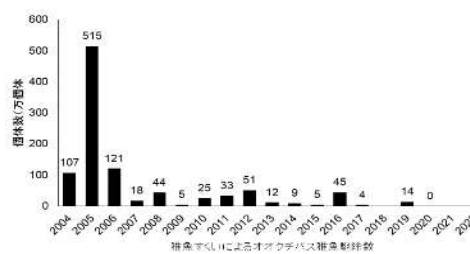


図3. 伊豆沼における定置網による捕獲数の年変化



取組の点検 業務の結果、現在の伊豆沼・内沼のブルーギル、オオクチバス等の生息推定数は少なく、在来生物が大きく回復している。捕獲数は、ここ近年と同様、ピーク時の数十分の1以下であり、今年度のオオクチバスとブルーギルの環境DNA濃度は、それぞれ240 copies/Lと136 copies/Lであり、検出限界(100 copies/L)に近い低い値であったことから、低密度である沼の現状を反映していると考えられる。

今後の取組目標 現時点では捕獲の圧力を弱めてしまうと、オオクチバスの個体数が再び増加する懸念があることから、更なる低密度状態を目指して駆除活動を継続し、オオクチバス等の生息密度を増加し難い密度まで減少させる。


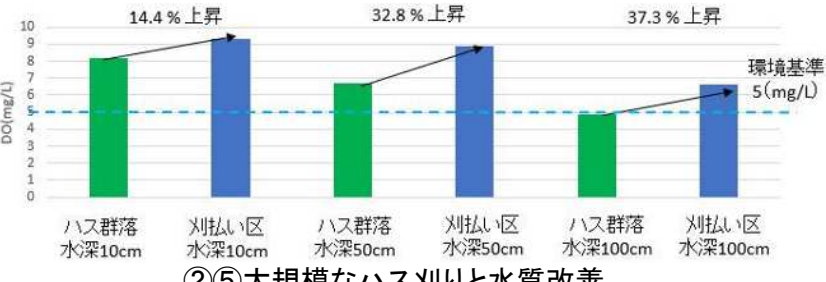


流域水循環計画取組状況

団体名称	東部地方振興事務所登米地域事務所農業農村整備部
対象流域	南三陸海岸流域・北上川流域・鳴瀬川流域・名取川流域・阿武隈川流域
取組分類	清らかな流れ・豊かな流れ・安全な流れ・豊かな生態系
活動事業名	東郷小学校総合学習支援「田んぼの学校」
取組の目的	東郷小学校の総合学習の支援として、5年生を対象とし、「田んぼや農村の役割」の説明、その後、水田脇の用水路にて「生き物調査」及び「水質調査」を行い、農地の多面的役割及び環境保全の重要性について、関心と理解を深める活動を行うもの。
実施場所	登米市南方町堀切地内
事業期間	令和4年6月22日(水)
取組の概要	<p>【令和4年度の主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登米市立東郷小学校からの依頼を受け、同小学校5年生28人を対象として活動を実施 ・当部職員から「田んぼの役割について」をテーマに農業農村の持つ働きについて説明、その後生き物調査とバックテスト(pHとCOD)を使用した水質調査、捕まえた生き物の種類や数を確認する同定作業を実施
連携団体等	迫川沿岸土地改良区・裏大岳ふる里守り隊
【取組状況の結果・写真・図表等】	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>田んぼの役割について学習</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>生き物調査の様子</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>水質調査の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>同定作業の様子</p> </div> </div>	
取組の点検	ザリガニやドジョウ、フナなど多くの生き物を捕まえることができ、田んぼ周辺の生き物や田んぼの役割について学ぶことができた。
今後の取組目標	今後も地元小学校や地域住民の方々と連携し、農業農村の持つ役割について理解を深め、自分たちの住んでいる農村の多様な環境を理解してもらおう。

報告団体等

宮城県農政部農村振興課

流域水循環計画取組状況

団体名称	宮城県環境生活部自然保護課、伊豆沼・内沼自然再生協議会
対象流域	南三陸海岸流域・北上川流域・鳴瀬川流域・名取川流域・阿武隈川流域
取組分類	清らかな流れ・豊かな流れ・安全な流れ・豊かな生態系
活動事業名	伊豆沼・内沼自然再生事業、よみがえれ在来生物プロジェクト
取組の目的	自然再生推進法に基づく自然再生事業等を実施し、多様な生物が生息・生育する淡水湖沼の生態系の再生を目指すもの。
実施場所	登米市及び栗原市内の伊豆沼・内沼流域
事業期間	平成22年度～
取組の概要	<p>【令和4年度の主な取組】</p> <p>(1) 伊豆沼・内沼自然再生協議会の開催</p> <p>(2) 自然再生事業等の実施</p> <p>① エコトーン造成(移行帯の造成)</p> <p>② 水質改善効果検討調査(伊豆沼の水質検査等)</p> <p>③ 在来生物増加促進対策(カラスガイの増殖・系統保存等)</p> <p>④ 外来生物対策(電気ショッカーボート等による外来魚の駆除等)</p> <p>⑤ ハスの適正管理(大規模なハス刈取り)</p> <p>⑥ 鳥類モニタリング調査</p>
連携団体等	伊豆沼・内沼自然再生協議会 公益財団法人宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団(上記(2)①から⑥の委託先)、 株式会社建設環境研究所(上記(2)⑤の一部委託先)
【取組状況の結果・写真・図表等】	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="width: 30%;">  <p>①エコトーンの造成</p> </div> <div style="width: 65%;">  <p>②⑤大規模なハス刈りと水質改善</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="width: 30%;">  <p>③カラスガイの飼育状況</p> </div> <div style="width: 65%;">  <p>④外来魚の駆除による在来種の回復状況</p> </div> </div>
取組の点検	回復目標6生物のうち、2つの増加などが確認できたが、他については、増加は見られなかった。低泥採取した埋土種子の発芽は、新規発芽や再生産に成功したが、沼内への移植は難航している。エコトーンを造成するとともに、昨年度までに造成した箇所では、準絶滅危惧種のミズアオイを含む水生植物が出現するなど、湖沼内の生物多様性の回復が期待される。
今後の取組目標	外来種の駆除や水生植物の埋土種子による復元等によって、一部の目標生物が回復するなど成果が現れているものの、アメリカザリガニの被害対策やエコトーンのさらなる造成などを推進する事業展開を図っていく。

流域水循環計画取組状況

団体名称	七ヶ浜町
対象流域	南三陸海岸流域 ・ 北上川流域 ・ 鳴瀬川流域 ・ 名取川流域 ・ 阿武隈川流域
取組分類	清らかな流れ ・ 豊かな流れ ・ 安全な流れ ・ 豊かな生態系
活動事業名	①しちがはまクリーンサポートプログラム ②巡回監視・回収
取組の目的	町内海岸の良好な景観を保ち、七ヶ浜町の魅力を創出する。
実施場所	①②とも町内各海岸及び付近一帯
事業期間	①②とも7・8月を中心として通年
取組の概要	<p>【令和4年度の主な取組】</p> <p>①しちがはまクリーンサポートプログラムには令和3年度末時点で26団体の登録があり、のべ約500名による計15回の清掃活動の結果、ゴミ袋80袋分を回収処分している。</p>
連携団体等	ボランティア団体
<p>【取組状況の結果・写真・図表等】</p> <p>■収集したゴミの写真</p>	
<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  </div> </div>	
取組の点検	海浜利用者によるゴミの放置が依然として目立ち、また大量のタイヤや竹なども漂着している。ボランティアの継続的な海浜清掃のほか、ゴミの持ち帰り等の周知徹底も求められている。
今後の取組目標	海浜利用者のゴミ持ち帰りの意識を高める。

報告団体等

七ヶ浜町

流域水循環計画取組状況

団体名称	色麻町河川愛護会		
対象流域	南三陸海岸流域 ・ 北上川流域 ・ 鳴瀬川流域 ・ 名取川流域 ・ 阿武隈川流域		
取組分類	清らかな流れ ・ 豊かな流れ ・ 安全な流れ ・ 豊かな生態系		
活動事業名	河川清掃		
取組の目的	河川の整備を行い天災を防止し、地域住民の共同の福祉を増進する。		
実施場所	鳴瀬川水域(花川、深川、埋川、保野川、長谷川、河童川、新深川など)		
事業期間	令和4年6月19日～7月3日		
取組の概要	<p>【令和4年度の主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雑草木の刈り払い 		
連携団体等	色麻町		
【取組状況の結果・写真・図表等】			
<p>新深川</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>刈り払い前</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>刈り払い後</p>  </div> </div> <p>焼切川</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>刈り払い前</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>刈り払い後</p>  </div> </div>			
取組の点検	地域住民の高齢化により参加者が減少になることが考えられる。		
今後の取組目標	継続していきたい。		

報告団体等

色麻町

流域水循環計画取組状況

団体名称	NPO法人石母田ふる里保全会
対象流域	南三陸海岸流域 ・ 北上川流域 ・ 鳴瀬川流域 ・ 名取川流域 ・ 阿武隈川流域
取組分類	清らかな流れ ・ 豊かな流れ ・ 安全な流れ ・ 豊かな生態系
活動事業名	地域交流「めだかの学校びおと〜ふ」(稲刈り体験学習)
取組の目的	鳴瀬川の生態系を小学生に体験してもらうことを目的とする。
実施場所	鳴瀬川沿岸 加美町宮崎新町二番
事業期間	令和4年10月13日(木)
取組の概要	<p>【令和4年度の主な取組】</p> <p>多面的機能支払交付金の石母田ふる里保全会が宮崎小学校と連携して小学6年生を対象に稲刈り体験学習を行ったもの。刈り取った稲を束ねるための藁打ちの体験から、刈り取った稲を棒掛けや架せ掛けで乾燥させる体験まで行った。また、春に稲を手投げで植えた部分では、原始時代の稲刈り体験として黒曜石を使った穂首刈りも体験した。</p>
連携団体等	NPO法人石母田ふる里保全会、加美町立宮崎小学校、宮城県(北部地方振興事務所 農業農村整備部)
<p>【取組状況の結果・写真・図表等】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>▲スタッフに教わりながら藁で稲を束ねる様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>▲棒掛けの様子</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  <p>▲黒曜石を用いた穂首刈りの様子</p> </div>	
取組の点検	伝統的な稲刈りを体験することによって、自然と触れ合うことができ、田んぼの適切な維持について健全な水循環の保全が重要であることを学んだ。
今後の取組目標	関係団体と連携しながら継続的に活動を実施する予定。

報告団体等

宮城県農政部農村振興課

流域水循環計画取組状況

団体名称	多賀城市
対象流域	南三陸海岸流域 ・ 北上川流域 ・ 鳴瀬川流域 ・ 名取川流域 ・ 阿武隈川流域
取組分類	清らかな流れ ・ 豊かな流れ ・ 安全な流れ ・ 豊かな生態系
活動事業名	水生生物調査
取組の目的	砂押川に生息する生物の状態を調査するとともに、市民が参加することにより自然環境の重要性を啓発するもの
実施場所	砂押川市川橋付近（多賀城市市川）
事業期間	令和4年6月26日
取組の概要	<p>【令和4年度の主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者（市内小学生とその親）に対し、砂押川の自然環境へのふれあいの場を提供し、生態系環境の観察会を実施 ・砂押川の環境保全するため、観察地周辺の除草作業を実施
連携団体等	東北緑化環境保全株式会社
<p>【取組状況の結果・写真・図表等】</p> <p>【自然環境とのふれあい】</p>  <p>【採取した生物】</p> 	
取組の点検	市内の小学生に対し、貴重な体験機会の提供となり、砂押川の生態系に対し一層の興味、関心を抱いたようである。
今後の取組目標	貴重な実体験を通し、環境保全の大切さに気づき、環境配慮行動へとつながるきっかけの場とする。

報告団体等

多賀城市

流域水循環計画取組状況

団体名称	北上下流河川事務所
対象流域	南三陸海岸流域・北上川流域・ 鳴瀬川流域 ・名取川流域・阿武隈川流域
取組分類	清らかな流れ・豊かな流れ・安全な流れ・ 豊かな生態系
活動事業名	鳴瀬川水系水辺現地調査(植物)
取組の目的	鳴瀬川水系鳴瀬川、吉田川の直轄管理区間を対象として、植物調査を実施し河川管理上の基礎資料とするもの。
実施場所	鳴瀬川水系直轄管理区間
事業期間	令和4年4月～令和5年3月
取組の概要	【令和4年度の主な取組】 植物の分布状況の経年変化を確認し、河川管理上の基礎資料とする。
連携団体等	
<p>【取組状況の結果・写真・図表等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・確認種数は、110科697種。 ・春季にオオハナウドやヤブスゲ、夏季にクララやキツリフネ、秋季にサクラタデやワレモコウなどを確認。 ・重要種は、22種を確認。ミズオオバコは初確認。 ・ホソバイスタデやノダイオウ、タコノアシは確認地区数が多く、鳴瀬川水系の代表的な重要種である。 ・外来種はワルナスビなど計173種を確認。外来種比率は全体の24.8%。 ・特定外来生物はアレチウリとオオハンゴンソウの2種を確認。 ・水国調査での確認種数は累計で954種。今年度調査での新規確認種数は80種。 <p>新規確認のうち、在来種が約半数の41種。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>確認された主な重要種</p>  <p>ミズオオバコ ホソバイスタデ ノダイオウ タコノアシ</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>確認種の経年変化</p>  <p>調査回数 (時期) H7 (1995) 2季 (夏・秋) 487種 H12 (2000) 4季 (春・初夏・夏・秋) 599種 H17-18 (2005-06) 4季 (春・初夏・夏・秋) 728種 H24 (2012) 3季 (春・夏・秋) 688種 R4 (2022) 3季 (春・夏・秋) 697種</p> <p>増加傾向 80種 954種</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p>確認された主な外来種</p>  <p>ワルナスビ アレチウリ オオハンゴンソウ</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>新規確認種の内訳</p>  <p>在来種 41種 (51%) 外来種 39種 (49%)</p> </div> </div>	
取組の点検	植物に関するデータは、河川の整備・管理に必要な基礎的情報である。
今後の取組目標	良好な河川空間の整備・保全に資するべく、今後も管理河川を対象に、河川環境の基礎的な状況を定期的、継続的、統一的な手法で調査を実施する。

流域水循環計画取組状況

団体名称	NPO法人シナイモツゴ郷の会	
対象流域	南三陸海岸流域・北上川流域・ 鳴瀬川流域 ・名取川流域・阿武隈川流域	
取組分類	清らかな流れ・豊かな流れ・安全な流れ・ 豊かな生態系	
活動事業名	ため池の生態系保全と復元	
取組の目的	里山のため池と川の豊かな自然を地域ぐるみで守り次世代に継承する。	
実施場所	広長川及び水源ため池ほか 大崎市 鹿島台地区	
事業期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日	
取組の概要	【令和4年度の主な取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・シナイモツゴ及びゼニタナゴ生息池の増大と保全 ・外来種(ブラックバス・アメリカザリガニ)の防除 ・シナイモツゴの里親活動・小川の魚類調査 ・ため池を守る農業者の支援(シナイモツゴ郷の米認証制度) ・シンポジウムの開催 	
連携団体等	大崎市、東北大学、全国ブラックバス防除市民ネットワーク、宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団、鹿島台小学校、鳴瀬桜華小学校、小牛田小学校、石巻開北小学校、南郷農業高等学校	
【取組状況の結果・写真・図表等】		
		
		
		
		
取組の点検	池干しによるブラックバス駆除を実施したため池に、毎年、シナイモツゴやゼニタナゴを移植放流し、生息池の増大を図った。また、連続捕獲装置でアメリカザリガニを駆除し、アメリカザリガニの低密度管理に努めてきた。さらには、里山の池と小川の生態系保全と復元のための啓発活動を実施した。	
今後の取組目標	遺伝的多様性などに配慮した移植放流により、シナイモツゴやゼニタナゴ生息池の増大を図る。また、ため池の生態系を保全するため、連続捕獲装置でアメリカザリガニを駆除し、アメリカザリガニの低密度管理に努める。さらには、連続捕獲装置を、全国への提供を図る。	

報告団体等

NPO法人シナイモツゴ郷の会

流域水循環計画取組状況

団体名称	野蒜築港ファンクラブ
対象流域	南三陸海岸流域 ・ 北上川流域 ・ 鳴瀬川流域 ・ 名取川流域 ・ 阿武隈川流域
取組分類	清らかな流れ ・ 豊かな流れ ・ 安全な流れ ・ 豊かな生態系
活動事業名	野蒜築港の研究、伝承、遺産保護、地域活性化
取組の目的	野蒜築港に関する地域学習を啓発し、地域資産としての保全活用に努める
実施場所	野蒜築港跡周辺 北上・東名運河周辺
事業期間	2000年2月19日
取組の概要	<p>【令和4年度の主な取組】</p> <p>東松島市立鳴瀬桜華小学校小学6年生校外学習協力 2022.06.15 会報(ファンクラブ通信)上での意見交換・研究報告→FC通信85～88号発行 野蒜開港140周年フォーラム共催 2022.11.13 野蒜市民センター</p>
連携団体等	野蒜塾
【取組状況の結果・写真・図表等】	
 <p>鳴瀬桜華小学校校外学習協力 6月15日</p> <p>会報内容要旨 85号 第18回定期総会(紙上)資料案内 活動報告、会計報告等 86号 明治17年9月の暴風雨は野蒜を直撃したか 奥羽日々新聞記事を読む 松川清子 87号 フォーラム案内 日本初の西洋式運河ー利根運河を訪ねる 高橋幸夫氏 88号 仙石線跡地遊歩道状況 明治18年「野蒜築港事業」義二付上申入力報告 松川清子</p>	
取組の点検	前年度に続き会報上での意見交換・研究報告を行った
今後の取組目標	震災後閉館された野蒜築港資料室の再建

流域水循環計画取組状況

団体名称	東松島地区管理体制整備推進協議会
対象流域	南三陸海岸流域 ・ 北上川流域 ・ 鳴瀬川流域 ・ 名取川流域 ・ 阿武隈川流域
取組分類	清らかな流れ ・ 豊かな流れ ・ 安全な流れ ・ 豊かな生態系
活動事業名	「田んぼの学校」(生き物調査)
取組の目的	鳴瀬川流域の豊かな生態系にふれる体験を通じて、農業・農村のはたらきについて理解を深めてもらうことを目的とする。
実施場所	東松島市立鳴瀬桜華小学校付近の水田わき水路
事業期間	令和4年6月28日
取組の概要	<p>【令和4年度の主な取組】</p> <p>令和3年度に引き続き、県営造成施設管理体制整備促進事業の推進活動の一環として、東松島市立鳴瀬桜華小学校5年生を対象に生き物調査を実施した。農業・農村の有する多面的機能や特定外来種にかかる説明を行ったほか、網を使用してどのような生き物が水路に生息しているのか調査した。</p>
連携団体等	東松島市立鳴瀬桜華小学校、鳴瀬土地改良区、河南矢本土地改良区、東松島市、宮城県(東部地方振興事務所農業農村整備部)
【取組状況の結果・写真・図表等】	
<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>▲ 農業・農村の多面的機能の説明</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>▲ 網の使い方の説明</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>▲ ドジョウ</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>▲ 生き物の採取の様子</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>▲ 生き物を観察する様子</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>▲ タニシなど</p> </div> </div>	
取組の点検	モツゴ、エビ、ドジョウ、タニシ、マキガイなど多様な生き物が生息していることが分かり、鳴瀬川流域の豊かな生態系や農業・農村の有する「生き物を育む役割」について実感することができた。
今後の取組目標	次年度以降も引き続き実施し、地域の子もたちに鳴瀬川水系の豊かな生態系や農業・農村の有する多面的機能への理解を深めてもらう。

報告団体等

宮城県農政部農村振興課

流域水循環計画取組状況

団体名称	宮城県水産技術総合センター内水面水産試験場																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
対象流域	南三陸海岸流域 ・ 北上川流域 ・ 鳴瀬川流域 ・ 名取川流域 ・ 阿武隈川流域																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
取組分類	清らかな流れ ・ 豊かな流れ ・ 安全な流れ ・ 豊かな生態系																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
活動事業名	持続可能なみやぎの漁場環境づくり推進事業(鳴瀬川における魚類相調査)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
取組の目的	鳴瀬川の河川環境を把握するため、魚類相調査を行う。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
実施場所	鳴瀬川(高倉橋付近・鳴瀬橋付近・鹿原橋付近)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
事業期間	令和4年6月、10月																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
取組の概要	【令和4年度の主な取組】 採捕した魚の同定を実施した。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
連携団体等	鳴瀬吉田川漁業協同組合																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
【取組状況の結果・写真・図表等】																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">年 月</th> <th colspan="2">~2012</th> <th colspan="2">2013</th> <th colspan="2">2014</th> <th colspan="2">2015</th> <th colspan="2">2016</th> <th colspan="2">2017</th> <th colspan="2">2018</th> <th colspan="2">2019</th> <th colspan="2">2020</th> <th colspan="2">2021</th> <th colspan="2">2022</th> </tr> <tr> <th>6</th> <th>10</th> <th>6</th> <th>10</th> <th>6</th> <th>10</th> <th>6</th> <th>10</th> <th>6</th> <th>10</th> <th>6</th> <th>10</th> <th>7</th> <th>-</th> <th>6</th> <th>10</th> <th>6</th> <th>10</th> <th>6</th> <th>10</th> <th>6</th> <th>10</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">サケ科</td> <td>ヤマメ</td> <td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td> </tr> <tr> <td>イワナ</td> <td>●</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td rowspan="13">コイ科</td> <td>ウグイ・マルタウグイ</td> <td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td> </tr> <tr> <td>カマツカ</td> <td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td> </tr> <tr> <td>オイカワ</td> <td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td> </tr> <tr> <td>ビワヒガイ</td> <td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td> </tr> <tr> <td>ニゴイ</td> <td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td> </tr> <tr> <td>アブラハヤ</td> <td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td> </tr> <tr> <td>タイリクバラタナゴ</td> <td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td> </tr> <tr> <td>モツゴ</td> <td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td> </tr> <tr> <td>ゲンゴロウブナ</td> <td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td> </tr> <tr> <td>ギンブナ</td> <td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td> </tr> <tr> <td>タモロコ</td> <td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td> </tr> <tr> <td>モロコ類</td> <td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td> </tr> <tr> <td>タナゴ</td> <td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td> </tr> <tr> <td>タナゴ類</td> <td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">キュウリウオ科</td> <td>アユ</td> <td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td> </tr> <tr> <td>ワカサギ</td> <td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td> </tr> <tr> <td>ボラ科</td> <td>ボラ</td> <td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td> </tr> <tr> <td>カジカ科</td> <td>カジカ</td> <td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ドジョウ科</td> <td>ドジョウ</td> <td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td> </tr> <tr> <td>シマドジョウ</td> <td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td> </tr> <tr> <td>サンライシ科</td> <td>オオクチバス</td> <td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">ハゼ科</td> <td>オオヨシノボリ</td> <td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td> </tr> <tr> <td>シマヨシノボリ</td> <td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td> </tr> <tr> <td>トウヨシノボリ</td> <td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td> </tr> <tr> <td>ジュズカケハゼ</td> <td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td> </tr> <tr> <td>ヨシノボリ類</td> <td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td> </tr> <tr> <td>マハゼ</td> <td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td> </tr> <tr> <td>ウキゴリ</td> <td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td> </tr> <tr> <td>種数</td> <td>24</td><td>24</td><td>9</td><td>10</td><td>9</td><td>5</td><td>8</td><td>11</td><td>6</td><td>8</td><td>8</td><td>5</td><td>8</td><td>8</td><td>9</td><td>0</td><td>8</td><td>9</td><td>11</td><td>4</td><td>9</td><td>8</td> </tr> </tbody> </table>														年 月	~2012		2013		2014		2015		2016		2017		2018		2019		2020		2021		2022		6	10	6	10	6	10	6	10	6	10	6	10	7	-	6	10	6	10	6	10	6	10	サケ科	ヤマメ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	イワナ	●																						コイ科	ウグイ・マルタウグイ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	カマツカ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	オイカワ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	ビワヒガイ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	ニゴイ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	アブラハヤ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	タイリクバラタナゴ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	モツゴ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	ゲンゴロウブナ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	ギンブナ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	タモロコ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	モロコ類	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	タナゴ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	タナゴ類	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	キュウリウオ科	アユ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	ワカサギ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	ボラ科	ボラ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	カジカ科	カジカ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	ドジョウ科	ドジョウ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	シマドジョウ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	サンライシ科	オオクチバス	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	ハゼ科	オオヨシノボリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	シマヨシノボリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	トウヨシノボリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	ジュズカケハゼ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	ヨシノボリ類	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	マハゼ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	ウキゴリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	種数	24	24	9	10	9	5	8	11	6	8	8	5	8	8	9	0	8	9	11	4	9	8
	年 月	~2012		2013		2014		2015		2016		2017			2018		2019		2020		2021		2022																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		6	10	6	10	6	10	6	10	6	10	6	10	7	-	6	10	6	10	6	10	6	10																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
サケ科	ヤマメ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	イワナ	●																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
コイ科	ウグイ・マルタウグイ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	カマツカ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	オイカワ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	ビワヒガイ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	ニゴイ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	アブラハヤ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	タイリクバラタナゴ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	モツゴ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	ゲンゴロウブナ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	ギンブナ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	タモロコ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	モロコ類	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	タナゴ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
タナゴ類	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
キュウリウオ科	アユ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	ワカサギ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
ボラ科	ボラ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
カジカ科	カジカ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
ドジョウ科	ドジョウ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	シマドジョウ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
サンライシ科	オオクチバス	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
ハゼ科	オオヨシノボリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	シマヨシノボリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	トウヨシノボリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	ジュズカケハゼ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	ヨシノボリ類	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	マハゼ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	ウキゴリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
種数	24	24	9	10	9	5	8	11	6	8	8	5	8	8	9	0	8	9	11	4	9	8																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
各年の魚類相調査結果																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
取組の点検	合計で5科12種が観察され、漁業権対象となるヤマメやアユ、ウグイ、オイカワが確認された。また、近年の調査で確認されていなかったウキゴリが確認された。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
今後の取組目標	魚類相から河川環境の変化を把握できるように、今後も調査を継続する。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										

流域水循環計画取組状況

団体名称	名取川水系水質汚濁対策連絡協議会
対象流域	南三陸海岸流域・北上川流域・鳴瀬川流域・ 名取川流域 ・阿武隈川流域
取組分類	清らかな流れ ・豊かな流れ・安全な流れ・豊かな生態系
活動事業名	水質汚濁対策連絡協議会による活動
取組の目的	河川・湖沼および水路等の河川水質汚濁対策および河川環境の保全に関する連絡調整を図る。
実施場所	名取川水系
事業期間	昭和48年度(設立年度)～
取組の概要	<p>【令和4年度の主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河川の水質汚濁防止対策のための連絡調整 ・水質異常時の対応に関する講習会 ・河川ゴミ対策および水質汚濁防止に関する啓発活動
連携団体等	国土交通省、経済産業省、宮城県、水系内市町、水系内消防本部

【取組状況の結果・写真・図表等】



水質異常時の対応に関する講習会での
パケットテスト実施状況



川をきれいにする児童图画・ポスター 展示状況



オイルフェンス設置訓練

ホームタンクからの油流出にご注意を!

毎年冬季に一般家庭のホームタンクや事業所のタンクから油が流出する事故が発生しています。2つのポイントに注意して地域の財産である水環境を守りましょう。

【注意事項ポイント】

- ⚠️ 灯油を小分けする際は「その場を離れない」「目を離さない」
- ⚠️ ホームタンクや給油管が破損していませんか? 発油の点検を行い流出事故防止に努めましょう。

油流出を発生したらすぐに、消防署・警察署・市町村または国や県の機関へ連絡を!

油の回収や処理にかかった費用は**原因者**の負担になります!

阿武隈川水系水質汚濁対策連絡協議会下流支局
名取川水系水質汚濁対策連絡協議会
(事務局) 国土交通省 東北地方整備局 陸上川(国) 盛岡事務所 電話 022-304-1813

北上川水系水質汚濁対策連絡協議会下流支局
江合川及び鳴瀬川水系水質汚濁対策連絡協議会
(事務局) 国土交通省 東北地方整備局 北上川(下流)川事務所 電話 0225-94-9802

新聞広告による水質事故防止注意喚起

取組の点検	令和4年の水質事故件数は2件となっている。今後も継続的な取組を行っていく。
今後の取組目標	今後も、河川や湖沼等の水質汚濁対策の推進や環境保全、水質改善に努めていく。

流域水循環計画取組状況

団体名称	広瀬川1万人プロジェクト実行委員会		
対象流域	南三陸海岸流域 ・ 北上川流域 ・ 鳴瀬川流域 ・ 名取川流域 ・ 阿武隈川流域		
取組分類	清らかな流れ ・ 豊かな流れ ・ 安全な流れ ・ 豊かな生態系		
活動事業名	広瀬川1万人プロジェクト(一斉清掃)		
取組の目的	「杜の都・仙台」のシンボルである広瀬川の清流と自然環境を守り、多くの市民が親しめる川とするための活動を行います。		
実施場所	春:広瀬川流域8会場 秋:広瀬川流域19会場		
事業期間	春:令和4年4月23日(土) 10時~12時 秋:令和4年10月1日(土) 10時~12時		
取組の概要	<p>【令和4年度の主な取組】 「杜の都・仙台」のシンボルである広瀬川の清流と自然環境を守り、多くの市民が親しめる川とするために、100万都市仙台の1%にあたる1万人をキーワードに、市民・企業・行政が連携して、春と秋に広瀬川流域の一斉清掃を行います。また、市民・企業・行政が協働により策定した「広瀬川創生プラン」において、重点事業として位置づけられています。</p> <p>●春の一斉清掃(令和4年4月23日実施)、秋の一斉清掃(令和4年10月1日実施) ※平成25年度に累積延べ参加者数10,000人を達成した。</p>		
連携団体等	実行委員会に加入している地元企業、及び国土交通省東北地方整備局仙台河川国道事務所、宮城県、名取市、仙台市(建設局百年の杜推進課)など		
【取組状況の結果・写真・図表等】			
	会場数	参加者数	ゴミの数
春:	8	894	227
秋:	19	1,399	261
令和4年度は春の一斉清掃が3年ぶりに実施され、参加者数は2,293人(春:894人、秋:1,399人)となった。			
会場の様子①		会場の様子②	
			
		会場の様子③	
			
取組の点検	会場周辺におけるゴミの量は着実に少なくなってきました。		
今後の取組目標	令和4年度と同等の参加者数を目指します。		

報告団体等

仙台市

流域水循環計画取組状況

団体名称	キラキラパーク増田西
対象流域	南三陸海岸流域 ・ 北上川流域 ・ 鳴瀬川流域 ・ 名取川流域 ・ 阿武隈川流域
取組分類	清らかな流れ ・ 豊かな流れ ・ 安全な流れ ・ 豊かな生態系
活動事業名	増田川の清掃活動
取組の目的	増田川を通じて町の活性化と世代間交流
実施場所	増田川 堰根橋からJR東北本線まで
事業期間	3月から12月 4回
取組の概要	<p>【令和4年度の主な取組】</p> <p>3月25日 9:30～11:00 参加 11名 7月23日 9:30～11:00 参加 19名 9月27日 9:30～11:00 参加 21名 12月3日 9:30～11:00 参加 23名</p>
連携団体等	名取市協働提案事業として
<p>【取組状況の結果・写真・図表等】</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>ゴミ拾いの様子</p> </div> <div style="width: 50%;">  </div> <div style="width: 50%;">  <p>ゴミ選別の様子</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>作業後の集合写真</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>横幕の設置</p> </div> </div>	
取組の点検	幅広い年齢層の参加を得ることができた。
今後の取組目標	サケの遡上する環境を学ぶ

報告団体等

キラキラパーク増田西

流域水循環計画取組状況

団体名称	仙台市大倉川土地改良区
対象流域	南三陸海岸流域 ・ 北上川流域 ・ 鳴瀬川流域 ・ 名取川流域 ・ 阿武隈川流域
取組分類	清らかな流れ ・ 豊かな流れ ・ 安全な流れ ・ 豊かな生態系
活動事業名	「田んぼの学校」(仙台市立大沢小学校 稲刈り体験)
取組の目的	農業農村が持つ多面的機能の役割について、子どもたちに理解を深めてもらうことを目的とする
実施場所	仙台市立大沢小学校 学童田園
事業期間	令和4年10月19日
取組の概要	【令和4年度の主な取組】 仙台市大倉川土地改良区が21世紀創造運動「総合的な学習の地域活動」の一環として、仙台市立大沢小学校の5学年児童34名を対象に稲刈り体験を実施したもの。
連携団体等	JA仙台青年部芋沢支部、美土里ネットみやぎ、原・下地域保全連絡会、町内会、仙台市農林土木課、美土里ネット大倉川、仙台地方振興事務所農業農村整備部
【取組状況の結果・写真・図表等】	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>▲ 鎌の使い方を指導してもらいます</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>▲ 刈った稲をコンバインに運びます</p> </div> </div>	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>▲ カエルとも触れ合いました</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>▲ 綺麗に稲を刈ることができました</p> </div> </div>	
取組の点検	稲刈り体験を通して、生命の大切さや食料の恵みに感謝する心が育まれるとともに、田んぼの持つ役割・重要性について学ぶことができた。
今後の取組目標	子どもたちが農業・農村の持つ多面的機能の役割について理解を深めることができるよう、今後も関係団体等と連携して活動を実施する。

報告団体等

宮城県農政部農村振興課


流域水循環計画取組状況

団体名称	新浜町内会、貞山運河倶楽部	
対象流域	南三陸海岸流域 ・ 北上川流域 ・ 鳴瀬川流域 ・ 名取川流域 ・ 阿武隈川流域	
取組分類	清らかな流れ ・ 豊かな流れ ・ 安全な流れ ・ 豊かな生態系	
活動事業名	<ul style="list-style-type: none"> ・貞山運河の利活用による新浜の復興まちづくり ・新浜の貞山運河小屋めぐり ・仙台湾・貞山運河活用プロジェクト 	
取組の目的	貞山運河を新浜や沿岸部の復興まちづくりに活かすための魅力を掘り起こす。	
実施場所	新堀(貞山運河 七北田川～名取川)	
事業期間	令和4(2022)年6月～11月	
取組の概要	<p>【令和4年度の主な取組】</p> <p>新浜町内会主催:新浜フットパス①自然観察(植物)、②水辺の生きもの観察、③渡し舟と舟遊び(2回)④くらし(松葉さらい)</p> <p>貞山運河倶楽部主催:さくば(小型和船)の曳舟(2回)、貞山運河界隈にアーティストが制作した小屋を巡るイベント(4回)</p>	
連携団体等	カントリーパーク新浜、せんだいメディアテーク、NPO法人水・環境ネット東北 東北学院大学(平吹ゼミ、菊池ゼミ)、宮城教育大学(棟方ゼミ)	
【取組状況の結果・写真・図表等】		
  		
<p>2022.7.24小屋めぐり 2022.8.7渡し舟と浮き橋 2022.10.16Eボートとさくば</p>		
  		
<p>2022.9.18小屋めぐり(新浜タワー) 2022.9.4生きもの観察(釣り体験) 2022.10.16さくばの曳舟</p>		
取組の点検	令和4年度は、水辺・絆プロジェクトの支援をいただいて曳舟を行った。	
今後の取組目標	各関係団体等と連携し、継続して実施できるよう体制を作っていく。	

報告団体等



NPO法人水・環境ネット東北

流域水循環計画取組状況

団体名称	特定非営利活動法人川崎町の資源をいかす会
対象流域	南三陸海岸流域 ・ 北上川流域 ・ 鳴瀬川流域 ・ 名取川流域 ・ 阿武隈川流域
取組分類	清らかな流れ ・ 豊かな流れ ・ 安全な流れ ・ 豊かな生態系
活動事業名	令和4年度 釜房ダム周辺の清掃活動と桜並木の蔓刈り・下草刈り
取組の目的	釜房ダムの水質保全と景観を維持するための活動
実施場所	川崎町釜房ダム周辺
事業期間	令和4年7月30日及び8月6日
取組の概要	<p>【令和4年度の主な取組】</p> <p>これまでは釜房ダム周辺の清掃活動(ごみ拾い等)を実施していましたが、コロナ禍のため、大人数での作業は取りやめ、桜並木の蔓刈りと下草刈りのみとなった。</p>
連携団体等	川崎町釜房ダム周辺
<p>【取組状況の結果・写真・図表等】</p> 	
取組の点検	昨年実施したことにより、今年(令和5年)の桜並木の景観が素晴らしかった
今後の取組目標	今後も引き続き実施、特に数年中止していた清掃活動を再開する

報告団体等 特定非営利活動法人川崎町の資源をいかす会

流域水循環計画取組状況

団体名称	仙台河川国道事務所
対象流域	南三陸海岸流域・北上川流域・鳴瀬川流域・ 名取川流域 ・阿武隈川流域
取組分類	清らかな流れ ・豊かな流れ・安全な流れ・ 豊かな生態系
活動事業名	水生生物による簡易水質調査
取組の目的	水生生物を調べることで、水質状況を評価しながら河川愛護の認識を深めてもらう。
実施場所	広瀬川
事業期間	令和4年8月
取組の概要	<p>【令和4年度の主な取組】</p> <p>8月2日、仙台市立八木山中学校の生徒が、水生生物による簡易水質調査を実施。</p>
連携団体等	
<p>【取組状況の結果・写真・図表等】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>名取川水系広瀬川(R4.8.2)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>名取川水系広瀬川(R4.8.2)</p> </div> </div>	
取組の点検	河川の水質をBOD等の数値だけでなく、多様な視点で評価することが求められているため、今後も調査を継続する。
今後の取組目標	本調査を継続することで、子供たち等を通して河川愛護の啓発も図っていく。

報告団体等

東北地方整備局

流域水循環計画取組状況

団体名称	仙台市水道局
対象流域	南三陸海岸流域 ・ 北上川流域 ・ 鳴瀬川流域 ・ 名取川流域 ・ 阿武隈川流域
取組分類	清らかな流れ ・ 豊かな流れ ・ 安全な流れ ・ 豊かな生態系
活動事業名	青下の杜プロジェクト
取組の目的	企業等と協働により水源涵養林の保全育成及び水源保全の啓発を図るもの
実施場所	青下水源地(青下ダム(仙台市青葉区熊ヶ根)周辺)
事業期間	令和2年度～ 令和4年度 植樹・間伐活動(5/22、5/28、6/11) 水源地周辺の清掃活動(10/29)
取組の概要	<p>【令和4年度の主な取組】</p> <p>協力企業との協働による</p> <p>①植樹・間伐活動</p> <p>②水源地周辺の清掃活動</p> <p>※当該事業全体の趣旨等については別紙のとおり</p>
連携団体等	青下の杜プロジェクト協力企業(別紙一覧)
<p>【取組状況の結果・写真・図表等】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>植樹・間伐活動の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  <p>水源地周辺の清掃活動の様子</p> </div> </div>	
取組の点検	参加者数(令和4年度実績) 植樹・間伐活動:約100名(5/22、5/28、6/11) 清掃活動:約80名(10/29)
今後の取組目標	引き続き協力企業と協働して水源地の保全活動を行っていく。また、協力企業と水源地周辺の地域の方々と連携して活動していく。

報告団体等

仙台市

参考：青下の杜プロジェクトについて

○青下の杜プロジェクト（官民連携による水源保全事業）

（１）目的

「青下の杜プロジェクト」は、仙台市の水道水源の一つである青葉区熊ヶ根の青下水源地において、民間企業と仙台市が連携して、仙台市が保有する水源涵養林の保全育成に取り組むものです。

「杜の都・仙台」の豊かな自然の一部を構成する青下水源地を守り、将来にわたって安全でおいしい水道水をお届けしていくために、協力企業と連携して取り組んでいきます。

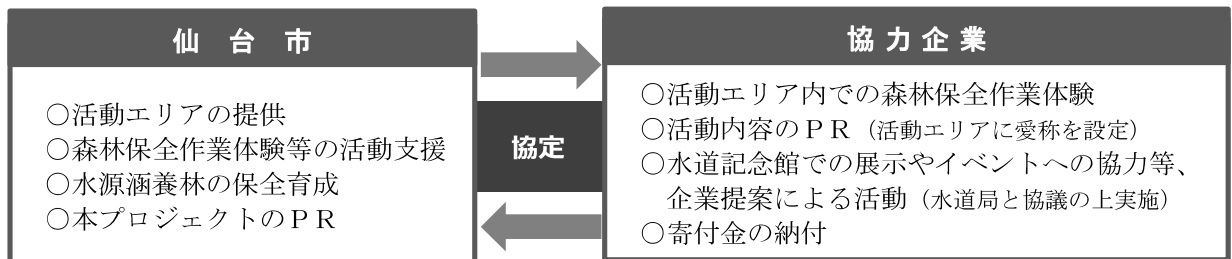
（２）協定の概要

締結日：令和２年１月１６日（木）

令和３年１０月２８日（木）（前澤工業（株）、前澤化成工業（株）が加わる）

令和５年１月２３日（月）令和５年３月に協定期間を満了する企業９社と改めて協定締結

締結者：仙台市長、協力企業 11 社（企業名は下表参照）





※協定年数は3年間以上、寄付金額は30万円以上を基本として、各企業の提案により決定。

協力企業と活動エリア（水道記念館周辺）



A	メタウォーター(株)
B	大成機工(株)
C	宮城県管工業協同組合
D	第一環境(株)
E	(株)宮城衛生環境公社
F	(株)日立製作所 東北支社
G	(株)日水コン 東北支所
H	(株)クボタ
I	前澤給装工業(株) 前澤工業（株） 前澤化成工業（株）

流域水循環計画取組状況

団体名称	名取市
対象流域	南三陸海岸流域 ・ 北上川流域 ・ 鳴瀬川流域 ・ 名取川流域 ・ 阿武隈川流域
取組分類	清らかな流れ ・ 豊かな流れ ・ 安全な流れ ・ 豊かな生態系
活動事業名	水生生物観察会
取組の目的	観察会を通して、河川の環境保全の意識向上を図る。
実施場所	増田川
事業期間	令和4年7月30日
取組の概要	<p>【令和4年度の主な取組】</p> <p>小学生の親子が出席し、水質の確認や水生生物の採取などを実施</p>
連携団体等	なし
<p>【取組状況の結果・写真・図表等】</p> <p>○水質階級 きれいな水</p> <p>○採取生物 カワゲラ類、ナガレトビケラ類など</p> <p>○取組の様子</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	
取組の点検	今年度は参加者が少なかったが、河川の生態系への理解を深めることができ好評であった。
今後の取組目標	今後も引き続き、観察会を実施し、河川の環境保全に取り組む。

報告団体等

名取市

流域水循環計画取組状況

団体名称	キリンビール(株)仙台工場
対象流域	南三陸海岸流域 ・ 北上川流域 ・ 鳴瀬川流域 ・ 名取川流域 ・ 阿武隈川流域
取組分類	清らかな流れ ・ 豊かな流れ ・ 安全な流れ ・ 豊かな生態系
活動事業名	1.水源の森活動 2.工場周辺清掃活動 3.防風林育樹活動
取組の目的	1. 水源地の環境保全 2. 工場周辺の自然保護 3. 震災で被災した宮城県沿岸地区の防風林再生
実施場所	1. 北蔵王山麓国有林 2. 工場周辺(仙台市宮城野区港) 3. 東松島市
事業期間	1. 2007年9月～ 2. 1983年～ 3. 2013年4月～
取組の概要	<p>【令和4年度の主な取組】</p> <p>1. 仙台工場で使用している水は釜房ダムからの水です。釜房ダムの水源地の川崎町小屋沢山国有林の8.87haの森林保護活動を26年間支援する「法人の森林(もり)制度」を2007年9月国土緑化推進機構と覚書締結し、保全活動を行っています。(平成28年度より従業員参加型を終了し、外部委託)</p> <p>2. 工場周辺の清掃活動を毎月定期的に行っています。環境負荷の軽減に努めました。</p> <p>3. 2013年から東日本大震災時の津波により壊滅的な被害を受けた国有林を再生するボランティア活動を実施しており、今年度は2020年にクロマツを植栽した場所での下草刈りと、枯れた松の捕植作業を行いました。</p>
連携団体等	3. 日本森林林業振興会、みやぎ森の会
<p>【取組状況の結果・写真・図表等】</p> <p>1. 防風林育樹活動</p>	
	
取組の点検	令和4年度は計画通りに実施しました。
今後の取組目標	次年度以降も継続的に取り組んでいきます。

報告団体等

キリンビール(株)仙台工場

流域水循環計画取組状況

団体名称	宮城県環境生活部環境対策課
対象流域	南三陸海岸流域 ・ 北上川流域 ・ 鳴瀬川流域 ・ 名取川流域 ・ 阿武隈川流域
取組分類	清らかな流れ ・ 豊かな流れ ・ 安全な流れ ・ 豊かな生態系
活動事業名	水辺教室
取組の目的	水辺の環境を題材とした講義や野外観察を通して、児童の河川・湖沼及び水生生物に対する理解を深め、身近な水環境を守っていくことの大切さを感じ、併せて、釜房ダム貯水池の果たしている役割や水質を保全することの重要性を考えてもらうこと。
実施場所	名取川水系北川(職員による水生生物・河川水採取)、川崎町立川崎小学校
事業期間	令和4年7月15日
取組の概要	<p>【令和4年度の主な取組】</p> <p>7月15日、川崎町立川崎小学校の生徒が、水生生物の観察及び水質調査を実施。 ※雨天の影響により、河川での水辺教室を中止し、理科室で職員が事前に採取した水生生物の観察及び河川水の水質調査を実施した。</p>
連携団体等	川崎町町民生活課
【取組状況の結果・写真・図表等】	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>各グループで水生生物の観察</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>水質調査(パックテスト)の様子</p> </div> </div>	
取組の点検	生物調査の結果、水質階級Ⅰ及びⅡの生物が多く見つかった。
今後の取組目標	今後も釜房ダム上下流の小学校に対して継続的に実施していく。

報告団体等

宮城県環境生活部環境対策課

流域水循環計画取組状況

団体名称	仙台河川国道事務所
対象流域	南三陸海岸流域 ・ 北上川流域 ・ 鳴瀬川流域 ・ 名取川流域 ・ 阿武隈川流域
取組分類	清らかな流れ ・ 豊かな流れ ・ 安全な流れ ・ 豊かな生態系
活動事業名	名取川水系河川水辺の国勢調査(魚類)
取組の目的	名取川における魚類の生息状況を把握し、河川環境保全・管理の基礎資料とするもの。
実施場所	名取川水系直轄管理区間
事業期間	令和4年4月～令和5年3月
取組の概要	<p>【令和4年度の主な取組】</p> <p>名取川水系の魚類の経年変化を把握する。</p>
連携団体等	
<p>【取組状況の結果・写真・図表等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度魚類調査で11目21科51種2608個体を確認。 ・ズズキ目(うち15種がハゼ科)を多く確認した。 ・重要種は、ニホンウナギ、ドジョウ、ギバチ、ワカサギ、テングヨウジ、ミナミメダカ、ウツセミカジカ、ヒモハゼ、アベハゼ、マサゴハゼ、エドハゼの7目8科11種を確認。 ・テングヨウジ、ウツセミカジカは水辺の国勢調査で初確認。 ・外来魚はコイ(飼育型)、モツゴ、ブルーギル、オオクチバス、コクチバスの5種 ・経年変化について個体数はばらつきが見られるが、100個体未満の種に限ると概ね数百個体で変動。 ・100個体以上の「群れ」を形成した種に着目すると群れだけで数百から数千個体となり、個体数の増減は、調査時に群れへの遭遇の有無等、偶発的な要因も大きいと考えられる。 <p>確認された主な重要種</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>ニホンウナギ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ドジョウ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ギバチ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>アベハゼ</p> </div> </div> <p>確認された主な外来種</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>コイ(飼育型)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>モツゴ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ブルーギル</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>オオクチバス</p> </div> </div>	
取組の点検	魚類の生息状況に関するデータは、河川の整備・管理に必要な基礎的情報である。
今後の取組目標	良好な河川空間の整備・保全に資するため、今後も管理河川を対象に、河川環境の基礎的な状況を定期的、継続的、統一的な手法で調査を実施する。

報告団体等

東北地方整備局

流域水循環計画取組状況

団体名称	キラキラパルク増田西
対象流域	南三陸海岸流域・北上川流域・鳴瀬川流域・ 名取川流域 ・阿武隈川流域
取組分類	清らかな流れ・豊かな流れ・安全な流れ・ 豊かな生態系
活動事業名	増田川を活用した生き物観察と川遊び
取組の目的	増田川を通じて町の活性化と世代間交流
実施場所	増田川 親水公園
事業期間	8月11日
取組の概要	<p>【令和4年度の主な取組】</p> <p>○増田川親水公園を活用して、16組の親子で川遊びや、ガサガサ体験で捕れた魚の名前などを専門の講師に解説していただきました。</p> <p>○川遊びは、水鉄砲での的あてや、手作りのバック船レースで楽しみました。楽しく歓声が聞こえていました。</p>
連携団体等	名取市協働提案事業として
<p>【取組状況の結果・写真・図表等】</p>	
取組の点検	川を知ること、大切さや、危険なこと、楽しいことを学べる。
今後の取組目標	川を身近に感じる取り組みを続ける。

報告団体等

キラキラパルク増田西

流域水循環計画取組状況

団体名称	宮城県水産技術総合センター内水面水産試験場	
対象流域	南三陸海岸流域 ・ 北上川流域 ・ 鳴瀬川流域 ・ 名取川流域 ・ 阿武隈川流域	
取組分類	清らかな流れ ・ 豊かな流れ ・ 安全な流れ ・ 豊かな生態系	
活動事業名	持続可能なみやぎの漁場環境づくり推進事業(広瀬川における天然アユの遡上調査)	
取組の目的	天然アユの遡上状況の情報提供および資源管理のための基礎データを得ること	
実施場所	広瀬川(合流点・土手畑付近、郡山堰下付近、愛宕堰下付近)	
事業期間	令和4年5月、6月	
取組の概要	<p>【令和4年度の主な取組】</p> <p>5月、6月に投網を用いてアユを採捕し、天然アユの遡上量について調査した。調査結果は速報として、宮城県のホームページ上に公開した。</p>	
連携団体等	広瀬名取川漁業協同組合	
	<p>【取組状況の結果・写真・図表等】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>投網によるアユの採捕</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>調査点</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>採捕したアユ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>調査点の投網1投あたりの採捕尾数</p> </div> </div>	
取組の点検	アユの遡上量は平年より多く、体サイズは平年並みであった。	
今後の取組目標	長期的な天然アユの遡上量を把握するため、今後も調査を継続する。	

流域水循環計画取組状況

団体名称	阿武隈川水系水質汚濁対策連絡協議会下流支局
対象流域	南三陸海岸流域 ・ 北上川流域 ・ 鳴瀬川流域 ・ 名取川流域 ・ 阿武隈川流域
取組分類	清らかな流れ ・ 豊かな流れ ・ 安全な流れ ・ 豊かな生態系
活動事業名	水質汚濁対策連絡協議会による活動
取組の目的	河川・湖沼および水路等の河川水質汚濁対策および河川環境の保全に関する連絡調整を図る。
実施場所	阿武隈川水系
事業期間	昭和50年度(設立年度)～
取組の概要	【令和4年度の主な取組】 ・河川の水質汚濁防止対策のための連絡調整 ・水質異常時の対応に関する講習会 ・河川ゴミ対策および水質汚濁防止に関する啓発活動
連携団体等	国土交通省、経済産業省、宮城県、水系内市町、水系内消防本部

【取組状況の結果・写真・図表等】



水質異常時の対応に関する講習会での
バックテスト実施状況



川をきれいにする児童图画・ポスター 展示状況



オイルフェンス設置訓練



新聞広告による水質事故防止注意喚起

取組の点検	令和4年の水質事故件数は0件となっている。今後も継続的な取組を行っていく。
今後の取組目標	今後も、河川や湖沼等の水質汚濁対策の推進や環境保全、水質改善に努めていく。

流域水循環計画取組状況

団体名称	特定非営利活動法人 あぶくまの里山を守る会	
対象流域	南三陸海岸流域 ・ 北上川流域 ・ 鳴瀬川流域 ・ 名取川流域 ・ 阿武隈川流域	
取組分類	清らかな流れ ・ 豊かな流れ ・ 安全な流れ ・ 豊かな生態系	
活動事業名	河川空間美化&竹財活用プロジェクト	
取組の目的	河川敷に広がる放置竹林をきれいにして、河原と一体化した癒しの空間にできれば、楽しいし、気持ちいい!! 阿武隈ライン舟下りのお客様も美しい空間でおもてなし! それに間伐で採取した竹を資源として活用し厄介者を宝に変える一石二鳥のプロジェクトです。	
実施場所	阿武隈川 丸森町舘矢間地区	
事業期間	令和4年4月～令和5年3月	
取組の概要	【令和4年度の主な取組】 毎月第3日曜日を竹林清掃の日と定めボランティアによる竹の間伐や清掃活動を定例化した。毎回約20人ほどが参加し人気の活動になってきた。 また、間伐した竹は竹炭として活用したり、チップにして生ゴミコンポストの基材にしたり、竹専用のドリルで綺麗に穴をあけて竹あかり(竹灯籠)を作ったり、資源としての活用を広げている。	
連携団体等	一般財団法人丸森町観光物産振興公社	
【取組状況の結果・写真・図表等】		
① 	③ 	④ 
② 	⑤ 	⑥ 
【写真①②③】 河川敷放置竹林清掃ボランティア	【写真⑤】竹チップでコンポスト	【写真④】ポラス竹炭づくり
【写真⑥】竹あかりワークショップ		
取組の点検	第3日曜日に定例化した竹林清掃ボランティアは、人気のイベントになりつつあり、特に仙台圏からの参加者が多く交流人口の増加が期待される。	
今後の取組目標	竹林清掃ボランティアに毎回参加してくれる常連さんが何人かいるので、今後リーダーとして会の運営なども担ってもらえるように人材の育成に努めたい。	

報告団体等 特定非営利活動法人 あぶくまの里山を守る会




流域水循環計画取組状況

団体名称	蔵王町環境政策課ジオパーク推進室
対象流域	南三陸海岸流域 ・ 北上川流域 ・ 鳴瀬川流域 ・ 名取川流域 ・ 阿武隈川流域
取組分類	清らかな流れ ・ 豊かな流れ ・ 安全な流れ ・ 豊かな生態系
活動事業名	蔵王ジオパーク構想 出前講座「流れる水のはたらき」
取組の目的	理科の単元学習「流れる水のはたらき」を学びながら、環境保全について理解を深めるとともに、郷土愛の醸成を図る。
実施場所	①松川(蔵王町)、②松川・白石川合流点(白石市)、③白石川・阿武隈川合流点(柴田町)、④阿武隈川・鳥の海合流点(亶理町)の計4地点を観察する。
事業期間	7月～11月に計4回(各小学校からの実施依頼日)
取組の概要	<p>【令和4年度の主な取組】</p> <p>理科の単元学習「流れる水のはたらき」においてジオパークで蓄積した知見を活用する。河川の上流～下流(海)まで実際に見ることで、住んでいる生物の違いや、石や地形、土地利用の変化を見ることで「浸食・運搬・堆積」の作用が私たちの生活にどのような恩恵や災害(水害)をもたらしているのかを学ぶ。</p>
連携団体等	蔵王町教育委員会教育総務課、蔵王町教育委員会生涯学習課
<p>【取組状況の結果・写真・図表等】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>蔵王ジオパーク構想の解説と行程の説明</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>①松川 (蔵王町)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>②松川・白石川合流点 (白石市)</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>③白石川・阿武隈川合流点 (柴田町)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>④阿武隈川・鳥の海合流点 (亶理町)</p> </div> </div>	
取組の点検	教員・生徒にアンケートを実施し、理解度・満足度を伺っており、概ね好評を頂いている。
今後の取組目標	本単元学習の他にも地域調査学習等にもジオパークを活用して頂いている。依頼を受けやすいようにプログラムの整備、普及啓発を行う。

報告団体等







蔵王町

流域水循環計画取組状況

団体名称	特定非営利活動法人 蔵王のブナと水を守る会
対象流域	南三陸海岸流域 ・ 北上川流域 ・ 鳴瀬川流域 ・ 名取川流域 ・ 阿武隈川流域
取組分類	清らかな流れ ・ 豊かな流れ ・ 安全な流れ ・ 豊かな生態系
活動事業名	南蔵王の荒地を広葉樹の森へ復元する事業
取組の目的	荒地を森林に復元することで、水源涵養機能の向上、生物多様性の保全、地球温暖化防止策の推進を図る。
実施場所	白石市福岡八宮不忘山の当会所有地
事業期間	平成11年～令和10年度(後継者がいれば30年後位まで)
取組の概要	【令和4年度の主な取組】 整備した3つの森(13.7ha)の下草刈り、枝打ち、間伐等の育林作業。高木の成長調査。カメラを設置し動物の生態調査を行いHPで公開。
連携団体等	なし
【取組状況の結果・写真・図表等】	
 	
<p style="text-align: center;">ヤマハンノキの間伐 枝打ち作業</p>	
  	
<p style="text-align: center;">待望のブナが開花 リスの撮影に成功 アナグマ イノシシの親子</p>	
取組の点検	高木の成長調査や動物の生態調査を行うことで、荒地が森に復元していく様子が確認できる。植樹した多くの樹木は、着実に成長している。実のなる木が増えたことで、動物の種類・数ともに増えていることが、設置したカメラの動画で確認できている。
今後の取組目標	活動できる会員がいる限り、現在行っている育林作業を続けていく。

報告団体等 特定非営利活動法人蔵王のブナと水を守る会

流域水循環計画取組状況

団体名称	仙台河川国道事務所
対象流域	南三陸海岸流域 ・ 北上川流域 ・ 鳴瀬川流域 ・ 名取川流域 ・ 阿武隈川流域
取組分類	清らかな流れ ・ 豊かな流れ ・ 安全な流れ ・ 豊かな生態系
活動事業名	阿武隈川下流河川水辺の国勢調査(鳥類)
取組の目的	阿武隈川下流における河川水辺の国勢調査の一環として鳥類の生息状況を把握し、河川環境保全・管理の基礎資料とするもの。
実施場所	阿武隈川水系(下流)直轄管理区間
事業期間	令和4年4月～令和5年3月
取組の概要	【令和4年度の主な取組】 阿武隈川下流流域の鳥類の生息状況の経年変化を把握する。
連携団体等	
<p>【取組状況の結果・写真・図表等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・確認種数は、15目40科138種。既往調査と比較し、最も多くの種を確認。 ・カルガモやヨシゴイなど「水辺」「水辺周辺」を主な生息環境とする種が約半数(71種)。 ・重要種は、オシドリ、コサギなど23種を確認。そのうち、ウズラ、トモエガモ、クイナ、オバシギ、サシバ、サンショウクイ、オオムシクイの6種が初確認。既往調査を含めると累計32種。 ・外来種は、コジュケイ、コブハクチョウ、アヒル、カワラバト、ガビチョウの5種を確認。 ・ガビチョウの分布は中流部で拡大傾向であったが、生息環境が類似するウグイスの個体数は減少しておらず、ガビチョウの分布拡大による影響は見られなかった。 <p>確認された主な重要種</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>トモエガモ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>オシドリ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>コサギ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>オバシギ</p> </div> </div> <p>確認された主な外来種</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>コブハクチョウ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>アヒル</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>カワラバト</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ガビチョウ</p> </div> </div>	
取組の点検	鳥類の生息・生育環境に関するデータは、河川の整備・管理に必要な基礎的情報である。
今後の取組目標	良好な河川空間の整備・保全に資するべく、今後も管理河川を対象に、河川環境の基礎的な状況を定期的、継続的、統一的な手法で調査を実施する。

報告団体等

東北地方整備局

流域水循環計画取組状況

団体名称	白石市土地改良区
対象流域	南三陸海岸流域 ・ 北上川流域 ・ 鳴瀬川流域 ・ 名取川流域 ・ 阿武隈川流域
取組分類	清らかな流れ ・ 豊かな流れ ・ 安全な流れ ・ 豊かな生態系
活動事業名	みやぎの地域資源保全活用支援事業における生き物調査(白石市立福岡小学校)
取組の目的	農業用水路に生息する生き物の調査を通じ、地域の小学生に生態系保全について理解を深めてもらうとともに、農地の多面的機能や土地改良施設の役割の啓蒙を行う。
実施場所	白石市福岡地内
事業期間	令和4年9月14日
取組の概要	<p>【令和4年度の主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白石市土地改良区職員が指導員となり、白石市立福岡小学校の5年生児童を対象として福岡長袋地域の水源における生き物調査を実施した。 ・採取した生き物を観察し、地域の生態系の保全及び環境保護について学習した。
連携団体等	白石市立福岡小学校、宮城県大河原地方振興事務所
<p>【取組状況の結果・写真・図表等】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>生き物調査の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>生き物調査の様子</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>同定の様子</p> </div>	
取組の点検	生き物図鑑や下敷きを活用し、採取した生き物と見比べることで、身近な水源に生息する生き物を特定しながら観察することができた。
今後の取組目標	来年度以降も継続的に活動を行い、地元児童に地域への愛着を持ってもらうとともに、農地の多面的機能や土地改良施設の役割に対する理解を促進する。

報告団体等

宮城県農政部農村振興課

流域水循環計画取組状況

団体名称	沼田七福神舞保存会
対象流域	南三陸海岸流域 ・ 北上川流域 ・ 鳴瀬川流域 ・ 名取川流域 ・ 阿武隈川流域
取組分類	清らかな流れ ・ 豊かな流れ ・ 安全な流れ ・ 豊かな生態系
活動事業名	田んぼの生き物調査
取組の目的	沼田七福神舞保存会メンバーの機運醸成を図りながら地域を盛り上げるため、住民たちが楽しめるイベントとして、生き物調査を行う。
実施場所	柴田郡村田町沼田地内
事業期間	令和4年10月1日
取組の概要	<p>【令和4年度の主な取組】</p> <p>村田町からの依頼を受け、農山漁村集落体制づくり支援業務において、沼田地区の子供を対象として生き物調査を実施した。また、生き物調査後に七福神舞のビデオ上映を行った。これらを通じ、七福神舞の伝承について機運醸成を図ることで、地域を盛り上げる一助とした。</p>
連携団体等	村田町、宮城県大河原地方振興事務所
<p>【取組状況の結果・写真・図表等】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>生き物調査の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>採取された生き物(ドジョウ)</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>ビデオ上映の様子</p> </div>	
取組の点検	ヌマエビやザリガニ等の多くの生き物を捕まえることができ、児童たちから好評であった。七福神舞伝承について機運醸成を図ることができた。
今後の取組目標	令和4年度からほ場整備事業の調査が開始したことから、農業・農村の持つ役割について理解を促進するとともに、今後も地域住民と連携し、七福神舞の機運醸成を図りながら地域を盛り上げていく。

報告団体等

宮城県農政部農村振興課

流域水循環計画取組状況

団体名称	亶理地区管理体制整備推進協議会
対象流域	南三陸海岸流域 ・ 北上川流域 ・ 鳴瀬川流域 ・ 名取川流域 ・ 阿武隈川流域
取組分類	清らかな流れ ・ 豊かな流れ ・ 安全な流れ ・ 豊かな生態系
活動事業名	亶理用水路学習会
取組の目的	一級河川阿武隈川の岩地蔵取水口から農業用水として亶理耕土約3000ヘクタールにかんがいされる水が地域産業、生活と密接な関わりがあることについて学び、地域の未来を支える子供たちに、その豊かさと歴史、農業基盤を支える水利施設の重要性を教示する取り組み。
実施場所	亶理町、山元町内
事業期間	平成20年度から令和4年度
取組の概要	<p>【令和4年度の主な取組】</p> <p>(1) 亶理小学校4年生100名に亶理用水路の役割等について見学会、学習会開催(令和4年8月24日)(令和4年11月9日)</p> <p>(2) 高屋小学校2年生10名と水路での生きもの調査実施(令和4年9月1日)</p> <p>(3) 逢隈小学校4年生90名に昔の農具、農業水利施設の役割、生きものの生態等について学習会開催(令和4年9月6日)</p>
連携団体等	東北農政局阿武隈川調査管理事務所、宮城県仙台地方振興事務所長、宮城県土地改良事業団体連合会、亶理町、山元町、みやぎ亶理農業協同組合、亶理町区長会、山元町区長会、みやぎ亶理農業協同組合女性部、亶理土地改良区
【取組状況の結果・写真・図表等】	
<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>農業と昔の農具について学ぶ</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>亶理耕土と生活に密着した農業用水路について</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>農業用水路に生息する生き物について学ぶ</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>亶理用水路と分水施設の役割について学ぶ</p> </div> </div>	
取組の点検	阿武隈川の水が農業用水路を通じて田んぼに入り、生きものを育て、暮らしを支えてきたことについて学ぶことができた。また、水路など危険な場所に近づいてはだめなことを学んだ。
今後の取組目標	令和4年度末で当協議会は解散したが、継続して関係機関連携し活動を行う予定。

流域水循環計画取組状況

団体名称	北上川水系水質汚濁対策連絡協議会 江合川及び鳴瀬川水系水質汚濁対策連絡協議会
対象流域	南三陸海岸流域・ 北上川流域 ・ 鳴瀬川流域 ・名取川流域・阿武隈川流域
取組分類	清らかな流れ ・豊かな流れ・安全な流れ・豊かな生態系
活動事業名	水質汚濁対策連絡協議会による活動
取組の目的	河川・湖沼および水路等の河川水質汚濁対策および河川環境の保全に関する連絡調整を図る。
実施場所	北上川水系、江合川及び鳴瀬川水系
事業期間	北上川水系:昭和50年度(設立年度)～ 鳴瀬川水系:昭和54年度(設立年度)～
取組の概要	【令和4年度の主な取組】 ・河川の水質汚濁防止のための連絡調整 ・河川ゴミ対策および水質汚濁防止に関する啓発活動
連携団体等	国土交通省、経済産業省、宮城県、水系内市町村、水系内消防本部
【取組状況の結果・写真・図表等】	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>不法投棄マップ公表</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>川をきれいにする児童図画・ポスター 展示状況</p> </div> </div>	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>水質事故発生マップ公表</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>新聞広告による水質事故防止注意喚起</p> </div> </div>	
取組の点検	令和4年の水質事故件数は10件(北上川水系(下流)5件、鳴瀬川水系5件)となっている。今後も継続的な取り組みが必要である。
今後の取組目標	今後も、河川や湖沼等の水質汚濁対策の推進や環境保全、水質改善に努めていく。

流域水循環計画取組状況

団体名称	林野庁 東北森林管理局 仙台森林管理署
対象流域	南三陸海岸流域 ・ 北上川流域 ・ 鳴瀬川流域 ・ 名取川流域 ・ 阿武隈川流域
取組分類	清らかな流れ ・ 豊かな流れ ・ 安全な流れ ・ 豊かな生態系
活動事業名	協定締結による国民参加の森林づくり
取組の目的	多様な森林整備や保全活動の要請に対応した国民参加の森林づくりの推進
実施場所	名取川流域(仙台市青葉区・太白区・泉区・若林区, 名取市)、阿武隈川流域(七ヶ宿町)
事業期間	平成28年度～令和10年度
取組の概要	<p>【令和4年度の主な取組】 地域住民が自主的に行う森林整備活動を推進するため、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国民参加の森林として設定する「ふれあいの森」-1団体 ・国有林野を活用した体験活動等を実施する「遊々の森」-7団体 ・東日本大震災により被災した海岸防災林の再生活動を実施する「社会貢献の森」-28団体 <p>と協定を締結(協定面積:約530ha)し、それぞれの団体において、下刈、除伐などの森林整備活動や多様な森林体験や自然観察等の取組みが行われた。</p>
連携団体等	民間団体、一般企業
<p>【取組状況の結果・写真・図表等】</p> <p style="text-align: center;">< 協定団体による森林整備活動の様子 ></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>【下刈作業】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【枝打ち体験】</p> </div> </div>	
取組の点検	地域住民等により自主的な森林整備・保全活動等が実施されている。
今後の取組目標	今後も継続して、ボランティア団体等が行う自主的な森林整備や保全活動についての要請に対応したフィールドの提供及び協定の締結等、多様な取組みに努める。

報告団体等

仙台森林管理署

流域水循環計画取組状況

団体名称	フィールドミュージアム運営協議会
対象流域	南三陸海岸流域・北上川流域・鳴瀬川流域・名取川流域・阿武隈川流域
取組分類	清らかな流れ・豊かな流れ・安全な流れ・豊かな生態系
活動事業名	フィールドミュージアム事業
取組の目的	翁倉山を中心とした志津川湾、戸倉半島、北上川、柳津津山地区及びその周辺地域(フィールドミュージアムエリア)における自然体験活動を通して、エコリズム及び環境教育を面的、複合的に推進することにより、自然環境保全および地域の活性化に寄与する。
実施場所	北上川、石巻市北上地区、志津川湾、南三陸町戸倉地区
事業期間	R4.4.1~R5.3.31
取組の概要	【令和4年度の主な取組】 ・自然体験拠点としての石巻・川のビジターセンター及び南三陸・海のビジターセンターの運営 ・自然体験プログラムの企画、実施
連携団体等	石巻市、南三陸町、特定非営利活動法人海の自然史研究所

【取組状況の結果・写真・図表等】

① 石巻・川のビジターセンター 来館者数

年度	来館者数(人)	備考
2019年度	12,066	
2020年度	7,619	コロナ休館4/11~5/31
2021年度	11,370	
2022年度	12,090	

② 南三陸・海のビジターセンター 来館者数

年度	来館者数(人)	備考
2019年度	11,765	
2020年度	8,859	コロナ休館4/11~5/31
2021年度	9,225	
2022年度	9,513	

③ 自然体験プログラム実施状況(該当区域内のみ)

月日	石巻・川のビジターセンター自然体験プログラム参加人数	月日	南三陸・海のビジターセンター自然体験プログラム参加人数		
4月16日	焚き火カフェ	6	4月17日	坂本海岸ビーチクリーン	2
5月21日	北上川砂浜クリーン	2	5月14日	海VCの展示を作ろう-グラスデコに挑戦!	6
5月28日	おやこ春キャンプ	14	5月15日	坂本海岸ビーチクリーン	2
6月4日	北上川砂浜クリーン	3	5月22日	雑魚食堂-もったいないギンザケ有効活用	13
6月5日	月浜沢川水生生物調査会	9	5月28日	おやこ春キャンプ	14
6月11日	川VCの展示を作ろう-北上川	3	6月19日	坂本海岸磯観察	19
6月18日	大室海岸磯観察-石巻市環境市民講座	18	7月10日	海VCの展示を作ろう	コロナ中止
7月11日	川VCの展示を作ろう	コロナ中止	7月17日	坂本海岸ビーチクリーン	3
7月24日	北上川ヨシ原カヤック	3	8月5日	志津川湾スノーケリング	7
8月6日	鳴野川沢祭り	4	8月21日	坂本海岸ビーチクリーン	3
8月7日	白浜ビーチスノーケリング	荒天中止	9月4日	志津川湾 SUP海中観察会	9
8月20日	北上川砂浜クリーン	3	9月10日	県事業 坂本海岸磯観察	24
8月21日	tsukuruで水遊び	2	9月18日	坂本海岸ビーチクリーン	12
8月28日	月浜沢川水生生物観察会	27	10月10日	志津川湾釣り体験	荒天中止
9月17日	戸倉試食堂	11	10月16日	坂本海岸ビーチクリーン	1
9月25日	県事業 月浜沢川観察会	15	10月22日	県事業 鮮魚水族館	27
9月25日	むしむし大作戦	18	10月29日	おやこ秋キャンプ	9
10月15日	北上川砂浜クリーン	4	11月12日	おやこ秋キャンプ	2
10月15日	焚き火カフェ	6	11月23日	波伝の森の林業体験	4
10月29日	おやこ秋キャンプ	9	11月27日	坂本海岸ビーチクリーン	1
11月3日	うんち探偵	2	12月10日	県事業 鳥のくちばしを見てみよう	2
11月5日	県事業 海藻Day!	8	12月18日	坂本海岸ビーチクリーン	3
11月6日	北上川砂浜クリーン	18	12月24日	戸倉試食堂	12
11月12日	おやこ秋キャンプ	2	1月14日	メスティンでアウトドア料理体験	8
11月19日	北上川砂浜クリーン	2	1月15日	坂本海岸ビーチクリーン	2
12月3日	冬だけど秋の星空観察会と焚き火倶楽部	5	2月4日	戸倉試食堂	2
12月17日	北上川砂浜クリーン	6	2月5日	志津川湾野鳥観察	12
1月21日	北上川砂浜クリーン	1	2月11日	海VCの展示を作ろう	2
1月29日	北上川野鳥観察	5	2月19日	坂本海岸ビーチクリーン	荒天中止
2月12日	川VCの展示を作ろう	2	3月19日	坂本海岸ビーチクリーン	3
2月18日	北上川砂浜クリーン	7			
2月18日	焚き火カフェ	6	月日	牡鹿半島における自然体験プログラム	参加人数
2月25日	森はもたち-牧山市民の森ピクニック	10	5月21日	崎の浜磯観察	11
3月21日	川VCの展示を作ろう 白鳥を作ろう!	4	7月29日	十八浜スノーケリング	6
3月18日	北上川砂浜クリーン	荒天中止			



志津川湾スノーケリング



水棲生物調査会




取組の点検	新型コロナウイルスの影響も取りつつあり、自然体験プログラムの参加数は大幅に増加した。来館者数も増加傾向にある。
今後の取組目標	R5年度は、引き続き新型コロナ等感染症の予防策を講じつつ、コロナ渦においてアウトドアや自然体験活動に関心を持ったより多くの方々に参加いただけるよう、自然環境保全と地域活性化を図りたい。

報告団体等

東北地方環境事務所

流域水循環計画取組状況

団体名称	宮城県(自然保護課)																												
対象流域	南三陸海岸流域	北上川流域	鳴瀬川流域	名取川流域	阿武隈川流域																								
取組分類	清らかな流れ ・ 豊かな流れ ・ 安全な流れ ・ 豊かな生態系																												
活動事業名	みやぎの里山林協働再生支援事業																												
取組の目的	企業のCSR活動を主体とした県民参加による里山林整備の促進																												
実施場所	県内一円																												
事業期間	平成20年度 ～																												
取組の概要	<p>【令和4年度の主な取組】</p> <p>近年、手入れが行き届かず荒廃が進む里山林において、CSR活動の一環として森林づくりに取り組む企業と、活動の場が提供できる森林所有者との橋渡し役となって里山林の整備を支援している。</p>																												
連携団体等	森林所有者、企業及び団体、特定非営利活動法人宮城県森林インストラクター協会等																												
<p>【取組状況の結果・写真・図表等】</p> <p>○協定締結状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>実施市町村</th> <th>件数</th> <th>面積(ha)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>南三陸海岸流域</td> <td>女川町</td> <td>2</td> <td>1.65</td> </tr> <tr> <td>北上川流域</td> <td>登米市</td> <td>1</td> <td>35.68</td> </tr> <tr> <td>鳴瀬川流域</td> <td>利府町ほか2</td> <td>15</td> <td>66.71</td> </tr> <tr> <td>阿武隈川流域</td> <td>蔵王町</td> <td>1</td> <td>24.16</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>6</td> <td>19</td> <td>128.20</td> </tr> </tbody> </table> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>作業風景(企業)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>作業風景(企業)</p> </div> </div>							実施市町村	件数	面積(ha)	南三陸海岸流域	女川町	2	1.65	北上川流域	登米市	1	35.68	鳴瀬川流域	利府町ほか2	15	66.71	阿武隈川流域	蔵王町	1	24.16	計	6	19	128.20
	実施市町村	件数	面積(ha)																										
南三陸海岸流域	女川町	2	1.65																										
北上川流域	登米市	1	35.68																										
鳴瀬川流域	利府町ほか2	15	66.71																										
阿武隈川流域	蔵王町	1	24.16																										
計	6	19	128.20																										
取組の点検	事業の普及を引き続き行う。																												
今後の取組目標	より多くの企業等の参画を促進し、県民参加による森づくりと取組を通じた自然環境教育を推進する。																												

報告団体等

宮城県環境生活部自然保護課

流域水循環計画取組状況

団体名称	多面的機能支払に係る活動に取組む活動組織(982組織)						
対象流域	南三陸海岸流域	北上川流域	鳴瀬川流域	名取川流域	阿武隈川流域		
取組分類	清らかな流れ	豊かな流れ	安全な流れ	豊かな生態系			
活動事業名	多面的機能支払交付金事業						
取組の目的	農業・農村が有する多面的機能を維持・発揮するために、地域で共同作業を行い、農地や農業用水路等の地域資源の適切な保全管理を行う						
実施場所	33市町村(利府町・女川町を除く)						
事業期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日						
取組の概要	<p>【令和4年度の主な取組】</p> <p>地域の共同活動により、農地及び農業用水路等の保全管理を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象区域の水路の泥上げ・草刈り・補修等を実施 ・子供会等と連携した生きもの調査を実施 						
連携団体等	土地改良区、自治会、PTA、子供会等						
【取組状況の結果・写真・図表等】							
 <p>水路の泥上げ</p>		 <p>水路の草刈</p>		<div style="border: 1px solid blue; padding: 10px; text-align: center;"> <p>R4実績</p> <p>○保全対象農地面積</p> <p>75,137ha</p> </div>			
 <p>生きもの調査</p>		 <p>水路法面の保護及び植栽</p>					
取組の点検	保全対象となる農用地がR3と比較して約826ha増加した						
今後の取組目標	農業・農村が有する多面的機能を適切に維持・発揮するため、現状維持が可能となるよう地域の共同活動を支援していく。						

報告団体等

宮城県農政部農山漁村なりわい課

流域水循環計画取組状況

団体名称	スマイルリバーサポーター(総称)																														
対象流域	南三陸海岸流域・北上川流域・鳴瀬川流域・名取川流域・阿武隈川流域																														
取組分類	清らかな流れ・豊かな流れ・安全な流れ・豊かな生態系																														
活動事業名	みやぎスマイルリバープログラム																														
取組の目的	県管理河川におけるボランティア活動を支援し、ボランティア活動の活性化及び河川に関する地域環境の維持向上通して、住民参加のまちづくりを図ること。																														
実施場所	県が管理する一級河川及び二級河川																														
事業期間	平成15年4月1日～(継続中)																														
取組の概要	<p>【令和4年度の主な取組】 以下の要件を満たす場合には、管轄する各土木事務所または各地方ダム総合事務所が認定し、団体名を表示した看板設置活動に必要な物品の支給及び草刈り機の無料貸出を行っている(それぞれ希望する場合)。また、活動中の事故等に備えて傷害保険に加入している。 [要件] ・5人以上の団体(NPO、自治会、商工会、クラブ会等) ・対象区間の100m以上間での河川美化活動を行うこと</p>																														
連携団体等	関係市町村																														
<p>【取組状況の結果・写真・図表等】 各流域におけるスマイルリバーサポーターの認定団体数と活動状況について</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>主な活動区域</th> <th>令和4年度末 認定団体数</th> <th>うち令和4年度 新規認定団体数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鳴瀬川流域</td> <td>北上運河・多田川・大江川</td> <td>14</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>北上川流域</td> <td>迫川・江合川・長沼川</td> <td>66</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>名取川流域</td> <td>広瀬川・笹川・名取川</td> <td>83</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>阿武隈川流域</td> <td>白石川・斎川・新川</td> <td>26</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>南三陸流域</td> <td>大川・津谷川等</td> <td>10</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>5流域合計</td> <td></td> <td>199</td> <td>16</td> </tr> </tbody> </table>					主な活動区域	令和4年度末 認定団体数	うち令和4年度 新規認定団体数	鳴瀬川流域	北上運河・多田川・大江川	14	1	北上川流域	迫川・江合川・長沼川	66	5	名取川流域	広瀬川・笹川・名取川	83	5	阿武隈川流域	白石川・斎川・新川	26	3	南三陸流域	大川・津谷川等	10	2	5流域合計		199	16
	主な活動区域	令和4年度末 認定団体数	うち令和4年度 新規認定団体数																												
鳴瀬川流域	北上運河・多田川・大江川	14	1																												
北上川流域	迫川・江合川・長沼川	66	5																												
名取川流域	広瀬川・笹川・名取川	83	5																												
阿武隈川流域	白石川・斎川・新川	26	3																												
南三陸流域	大川・津谷川等	10	2																												
5流域合計		199	16																												
																															
阿武隈川水系白石川での清掃作業		鳴瀬川水系北上運河での清掃作業																													
取組の点検	スマイルリバーサポーターの認定団体は増加しており、美化活動区間も確実に延びている。																														
今後の取組目標	引き続き認定団体数が増加するように、河川課HPや河川課フェイスブック、県政だより等により周知を実施していく。																														

報告団体等

土木部河川課

流域水循環計画取組状況

団体名称	宮城県水産林政部林業振興課
対象流域	南三陸海岸流域・北上川流域・鳴瀬川流域・名取川流域・阿武隈川流域
取組分類	清らかな流れ・豊かな流れ・安全な流れ・豊かな生態系
活動事業名	みんなの森林づくりプロジェクト推進事業
取組の目的	森林・山村の多面的機能維持向上
実施場所	県内 一円
事業期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日
取組の概要	<p>【令和4年度の主な取組】</p> <p>森林づくりや緑化活動を実施している団体に対し、森林整備等の活動や環境緑化活動の支援を行った。</p>
連携団体等	地域団体等 29団体
<p>【取組状況の結果・写真・図表等】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>森林整備活動(竹林の整備、支障木の整理)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>森林整備活動(植栽木の下刈り作業)</p> </div> </div>	
取組の点検	56.7ヘクタールの里山林保全活動や、18.4ヘクタールの侵入竹除去・竹林整備活動等が実施された。
今後の取組目標	引き続き、里山林の多面的機能の高度発揮と交流人口の増加等による山村地域の活性化に向けた活動支援を行う。

報告団体等

宮城県水産林政部林業振興課

流域水循環計画取組状況

団体名称	宮城県(自然保護課)																																						
対象流域	南三陸海岸流域	北上川流域	鳴瀬川流域	名取川流域	阿武隈川流域																																		
取組分類	清らかな流れ ・ 豊かな流れ ・ 安全な流れ ・ 豊かな生態系																																						
活動事業名	百万本植樹事業																																						
取組の目的	緑豊かな県土と潤いのある生活環境の創造、県民の緑化活動への積極的な参加促進																																						
実施場所	県内一円																																						
事業期間	平成5年～																																						
取組の概要	<p>【令和4年度の主な取組】</p> <p>被災地での緑化活動をはじめ、市町村、住民団体、ボランティア団体、企業等が地域の緑化推進を目的に自ら植樹活動を行う場合に、当該団体等に県が予算の範囲内において緑化木及び植樹用資材を配布した。</p>																																						
連携団体等	なし																																						
【取組状況の結果・写真・図表等】																																							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>実施市町村</th> <th>施行箇所数</th> <th>植栽本数</th> <th>樹種</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>南三陸海岸流域</td> <td>気仙沼市ほか1</td> <td>4</td> <td>305</td> <td>コナラ外</td> </tr> <tr> <td>北上川流域</td> <td>栗原市ほか2</td> <td>8</td> <td>352</td> <td>コナラ外</td> </tr> <tr> <td>鳴瀬川流域</td> <td>東松島市ほか1</td> <td>3</td> <td>253</td> <td>ヤマザクラ外</td> </tr> <tr> <td>名取川流域</td> <td>仙台市</td> <td>1</td> <td>160</td> <td>コナラ外</td> </tr> <tr> <td>阿武隈川流域</td> <td>白石市ほか4</td> <td>8</td> <td>529</td> <td>ヤマザクラ外</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>12</td> <td>20</td> <td>1,599</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					実施市町村	施行箇所数	植栽本数	樹種	南三陸海岸流域	気仙沼市ほか1	4	305	コナラ外	北上川流域	栗原市ほか2	8	352	コナラ外	鳴瀬川流域	東松島市ほか1	3	253	ヤマザクラ外	名取川流域	仙台市	1	160	コナラ外	阿武隈川流域	白石市ほか4	8	529	ヤマザクラ外	計	12	20	1,599	
	実施市町村	施行箇所数	植栽本数	樹種																																			
南三陸海岸流域	気仙沼市ほか1	4	305	コナラ外																																			
北上川流域	栗原市ほか2	8	352	コナラ外																																			
鳴瀬川流域	東松島市ほか1	3	253	ヤマザクラ外																																			
名取川流域	仙台市	1	160	コナラ外																																			
阿武隈川流域	白石市ほか4	8	529	ヤマザクラ外																																			
計	12	20	1,599																																				
	 <p>集合写真(住民団体)</p>		 <p>作業風景</p>																																				
取組の点検	引き続き事業の普及を行い、植樹活動の推進を図る。																																						
今後の取組目標	県民一人一人が積極的に緑化活動に関わり、より多くのみどり環境が造成されるよう事業の推進を図る																																						

報告団体等

宮城県環境生活部自然保護課